SHIN SHIN FUJIN

新眞婦人

新年號

〔第廿一號〕

THE FIRST MAGAZIN OF WOMAN'S MOVEMENT
IN JAPAN.

大正四年一月一日發行(毎月一回一日發行)大正二年四月二十六日(第三種郵便物認可)大正三年十二月二十六日印刷納本

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上

學力尋常小學卒業以上

品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察　月、水、木、金、午前

入院診後應需

林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

電(本)　八八八八(病院用)　八九八八(自宅用)

東洋内科醫院

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長　醫學士高田畊安

相州高座郡茅ヶ崎町海濱從停車場半里

電話ちがさき二番

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤

院長診察土曜日午後。入院、診後應需

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貴婦人令嬢間に

需用益々盛なる家庭御化粧料

ホーカー液

近来偽物を売る不正商人あり真正のホーカー液の包装には一本毎に図の如き精密なる封紙に御注意

本品は畏も再三宮内省御買上を蒙り

光栄愈輝き

売行益盛んにして

三越呉服店を初め到る処の信用ある小間物店雑貨店薬店より注文日に増し多大なり

天下唯一家庭化粧料ホーカー液本舗

東京市馬喰町　堀越嘉太郎商店

◉ホーカー液の効能

一色を白くし艶をよくし
一アレを防ぎキメを細かにし
一ニキビ吹出物を防ぎ
一カミソリマケを防ぎ
一白粉のノリノビよく
一子供衆の肌を丈夫にし
一香よく香水代用をなし
一イキイキとして元気よき顔となる

定価小瓶廿銭、中瓶四十銭
大瓶八十銭、送料八銭

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一月號目次

口繪　いのりのこゝろ　夜美草
扉　初雪
年頃の娘を持てる父母に與へて婦人の職業問題を論ずる書　西川文子……(一)
小野小町　さわらび……(五)
女子の潜在能力と婦徳　薄井秀一……(六)
落葉焚く日　山田きよ……(一三)
倫敦通信　K生……(一七)
兒童監督委員の仕事　同……(一七)
科學的婦人論　高野重三……(一八)
了然尼　島田筑波……(二九)
宿の娘　中里介山……(三三)
春から夏へ　みなつくし……(三五)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

冬ごもり（北海道より）　吉川たみ子…（三六）

白髪と皺をなくする法　記者…（三七）

落葉集　平澤福子…（三七）

マーキノ・ヨシオ君の婦人同盟訪問記　中尾清太郎…（三九）

女傑の片影　西川光次郎…（四五）

年と共にあらためる事　日向きむ…（四八）

愛　山口孤剣…（四九）

歌と俳句　諸家…（五二）

顔のあれない手當　小口みち子…（五三）

須磨子女史の爲めに　高木いせ…（五四）

讀者より記者へ　（五五）

新年を迎へて　文子…（五六）

一月一日發行

年始御進物品

新装美術函入

價格 二圓、一圓五十錢 / 一圓、五十錢

二圓と一圓五十錢はポケツト入ヌガーとミルクキヤラメル詰合せ

森永の菓子

大正四年式

新製品

煙草代用 ポケツト入 ミルクキヤラメル

ポケツト入 ヌガー

ポケツト入 ミルクチヨコレート

エンゼルフード

ロシアン、メキスト

其他

フレンチメキスト五種　アメリカンメキスト三種

スポンジメキスト五種　スヰヰトホーム三種

東京　森永製菓株式會社

▲ミルクキヤラメルには粗製僞品あり森永製に御注意を乞ふ

産科婦人科
小児科
（宅診午前
往診午後）

女醫 井出茂代

内藤新宿番衆町三一
電話番町三六七七番

リウマチス

▲難病にてあらゆる療法効なく御困りの御方に不思議に早く治る弊店家傳の……秘藥を御報らせします、御全快の皆樣から日々澤山の感謝狀を下されます一週間分七十五錢送料四錢

東京市淺草觀音仲見世。天勇横通

井筒屋油店

電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

皮膚科
梅毒科

泌尿器科
腎、膀胱、尿道、睾丸、攝護腺ノ疾患

生殖器科
男女生殖器機能障害

婦人科

診察時間
午前八時ヨリ十二時
午後四時ヨリ七時

日本橋區通二丁目白木屋出口前

ドクトルメヂチーネ 中島鎌太郎

電話本局三九八〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市麴町區內幸町一丁目三番地
電話新橋長二一〇〇、二一〇一番
振替貯金口座 東京一八、九〇〇番

太平生命保險株式會社

社長 中村靜嘉
專務取締役 楠秀太郎
取締役 村井貞之助
取締役 內野五郎三
取締役 前川善平
取締役 倉知誠夫

取締役 左右田棟一
取締役 舟木錬太郎
監査役 潮田方藏
監査役 左右田信二郎
監査役 中田敬義

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▼見よ!! 時代要求の珍書出でたり好評嘖々

（左の五書直接御注文の方へは世界の大戰一部呈上す）

前判事法學士 荘田要二郎先生序
眞新婦人主筆 西川文子女史序
醫學士 佐々木金二郎先生序
ドクトル 鈴木薫先生閲
日本藥學協會主幹 鴨田脩治先生著

新刊

産児制限論

名 避妊の研究

洋装金函入
總文字金
クロース美装
正價金壹圓（小包料十八錢）五拾八錢

●少く産みて多く教育せよとは産児制限論の主眼なり、貧窮人の子澤山は子の為めに益々貧窮に苦む、戰慄すべき墮胎罪は何んの為めに起るか、薄幸なる私生児の増殖するは何故なりや、今や生活難の聲は世界の隅から隅まで反響し、避妊法の研究は既に實行期に入りて成績顯著、

本書之を説くこと簡にして要を得、略にして疎ならず本邦に於ける現下唯一の珍本なり、乞ふ健児を得んとする人は勿論母體の保護と而して遺傳の恐るべきを知らんとする人には是非一讀あれ。

ドクトル下田良敬序 藥學協會主幹鴨田脩治著

新刊

整形 隆鼻法

洋綴美本 價四十錢
附病鼻療法送料免ず

鼻の低き人形の惡き人は勿論醫者も見よ本書の指示せる療法又は矯正せば容易に高くなり裏天や獅子鼻團子鼻煙突鼻の如きも正しき美形の鼻となる良書なり

醫學士高岡先生閲・鴨田脩治著眼球解剖寫眞圖入り

三版

近視眼矯正及豫防法

洋綴金文字入美本
正價金四十錢

●今や文化の進歩と共に學生にして殆んど近視に侵されざる者あらず。近視を恐るゝは愚なり恐れざるも亦愚なり其理審かに本書にあり。既に幾分にても其疾あるものは瞬時も早く本書に依て之を矯正し。幸ひに其患ひなきものは一日も早く本書を讀みて未然に防ぐことを怠る勿れ。

陸軍教授西村豐序鴨田脩治著

第四版

どもり矯正法

洋綴金文字入美本
價金四十錢

●本書は墺國醫學博士コォン氏のドモリ矯正法に則り著者が研究の結果世に公にせし者也此書に就て矯正せば如何に『ヒドキ』ドモリの人にても數十日の練習にて矯正し得る良書也

陸軍砲兵曹長與藤久登著

第拾版

長身肥滿法

郵券廿五錢送附あれば直ちに送本す

せの低き人 やせたる人

本書に依る時は高くなる病後産後其他生れ付の人にても忽に肉付強健となる不思議の療法なり短軀又は痩て悲觀せる方は一讀あれ。

發行所 東京市本郷區丸山福山町四番地 日本藥學協會

新眞婦人愛讀者には送料免除す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

賛助員現代大家二十餘名理想的少年雑誌出づ

少年倶樂部

一月一日發行 貳卷一號 本號特價 金貳拾錢 郵税二錢 平月一冊拾五錢郵税一錢 半年六冊税共九拾錢

幕末偉人 **平野國臣** 文學博士 萩野由之

航海物語 **明治丸** 横山健堂

▲歷史小說 **島左近**……笹川臨風
▲哀情淋漓 **鯨物語**……福田琴月
▲歷史物語 **旭日昇天** 文學士 中村孝也
▲世界文豪 **エチエガレー**……高島平三郎
▲**生き過ぎたりや十五年**……安藝愛山
▲少年訓話 **淡泊なれ** 文學博士 澤柳政太郎

▲**南洋護謨王**……岩谷法學士
▲**薫る二葉**……望月紫峯
▲**少年歌話**……尾上柴舟
▲**少年俳話**……宮本笑哉
▲**線路上人影**……小澤愛圀
▲新聞倶樂部——▲少年日誌
▲出世物語——▲少年漫畫

新年大附錄 **世界十二偉人**

額面用精巧コロタイプ十二枚美麗袋入。これ空前の大附錄にして新春の書齋を飾る無二の珍寶

偉蹟逸話 **世界十二偉人**

各專門大家十二名士の御執筆になるもの、興味津々たる中に絶大の教訓を得る新春の好讀物。

▲少年小說 **ウイルヘルムテル**……巖谷小波
▲お伽口演 **一粒の麥**……久留島武彦
▲少年講話 **戰捷國少年** 文學博士 服部宇之吉
▲勇壯無比 **伊賀越仇討**……兒玉花外
▲歷史小說 **武藏坊辨慶**……武田仰天子
▲人か神か **少年博士**……尺秀三郎

▲懸賞募集發表讀者文藝各種
▲小さき感想——▲お伽古川柳
▲**森蘭丸**……高木文學士
▲**世界の國名**……柴田猛猪
▲**睦月の頃**……尾張穗草
▲**ハガキの旅**……駒込局員
▲**遠州の猫塚**……大河内翠山

可憐少年 **母を慕うて** 上井磯吉

重成と智恩院 **堪忍の拳** 岡柳惟一

東京本郷駒込坂下 振替東京三九三〇 **大日本雄辯會** 電話下谷 四〇五四 六四九九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

[illegible]　　　いのりのこゝろ

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新春の好讀物

文學博士 坪内逍遙譯

（大好評 重版成る）

沙翁傑作集

洋装天金頗美本三色版木版密畫入

正價各壹圓卅五錢郵税各八錢

十版 ハムレット

三版 ロミオとジュリエット

三版 オセロー

再版 リヤ王

再版 ジュリヤス・シーザー

再版 ヹニスの商人

沙翁の盛名は久しく喧傳せられ其傑作に至つては屢々我劇場に演せられしに拘らず原作の面影を眞に傳へたりと思はるゝ飜譯は未だ一もあらず逍遙博士早稲田大學にて沙翁を講ずること二十餘年百錬の筆を呵して本譯を公にせらる譯筆神に入り流麗にして明暢殆ど一の創作を讀むが如し好評嘖々忽にして數版を重ねたるもの豈偶然ならんや

發兌 東京牛込早稲田 振替東京一一二三番 早稲田大學出版部

（賣捌） 東京神田表神保町 振替東京五〇一番 冨山房

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

西川光次郎著

偉人の戀物語

定價七拾錢
郵稅六錢

著述の目的

斯くて私は戀が人間を支配する力の如何に大なるかを知るに至つた、偉人の品性の土臺が戀によつて築かれたるものなることを知るに至つた。而して、一歩を進めて戀が偉人の心を支配して、間接に其の事業にも影響を及ぼして居るばかりでなく、直接にも歴史上の大事業が如何に戀の力、婦人の力に負ふ所多きかをも知り得るに至つた……茲に於てか一とつソウ云ふ方面から偉人の傳記を研究し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たもの、歴史上の大事件を論評したものを編纂せんと思ひ立ち、一昨年の夏より此の書の編纂に着手したるものである……偉人の傳記中に戀が餘談として書かれ、歴史上に一挿話として戀の書かれてあることは珍らしくないが、戀を中心として偉人を見、戀を中心として歴史上の大事件を評したものは少ない。之れ私が此書を新しい着眼點から研究したものだと云ふ所以である。（序文の一節）

目次大要

一、偉人の介抱人。二、意外な人々の戀物語。三、革命渦中の戀物語。四、英雄の弱點。三、妻を崇拜せし偉人。六、リンカーンとリー將軍。七、ジヨンブライトとグランドストン。八、戀文に關する逸話九、大政治家ペククリスを動かせし婦人。十、偉人の母。十一、中世紀と婦人の力。十二、處女崇拜。十三、婦人なしに何事も出來ざりし時代。十四、奴隷廢止に現はれし婦人の力。十五、情の上より見たる伊太利建國の三傑。十六、普佛戰爭半面史。十七、最近世界の進歩と婦人の力。十八、源平戀物語。十九、戀を中心として見たる建武中興史。廿、情の秀吉と情の家康。廿一、宗敎と婦人の力。廿二、赤穗義士背後の女性。廿三、王政維新と婦人の力。廿四、明治史と婦人の力。

發行所 東京本所駒込阪下町四八 振替東京三九二〇 大日本雄辯會

大隈伯爵外十二大家の證明的序文及跋

養眞會長　藤田靈齋先生著　齋藤松洲畫伯裝幀

天覽

實驗修養　心身强健之祕訣　息心調和法中傳

大阪　五百三十頁　定價壹圓拾錢　小包內地八錢

第二十版發賣

滿天下を驚倒せしめつゝある藤田式息心調和の修養法を未だ試みざる人に一讀再讀を勸む無病强健、難症治癒、膽力養成、精神修養の妙諦は收めて此の一卷にあり疑ふ勿れ既に五萬部を賣盡したる事實に徵せ

新刊

養眞會長　藤田靈齋先生序　フーパー先生序

マーデン博士原著　大宮英之助先生譯

心身修養の礎

大阪約四百頁　定價壹圓　小包內地八錢

地球上到る處の國語に譯述せられ好評嘖々たるマーデン博士著作中の白眉と稱せらるゝ Peace Power and Plenty を極めて通俗に邦譯せしものにして世の弱者、病者、煩悶者、失敗者は勿論苟も處世に意を注ぎ幸福なる境遇を得んと欲する人の一日も缺くべからざる寶典たり速に一本を机邊に備へ朝夕の修養に資せられんことを望む

中邨六藏翁著

最新刊

至動自覺法

定價四十錢　送料四錢

維新の初雲井龍雄と共に國事に奔走せし志士中邨翁が曾て在獄十數年間一意專心古今東西の哲理を研究し自家の說を立て一二大著述をなしたるは普く人の知る處爾後今日に至るまで三十有餘年間孜々研鑽の末之に基きて遂に『至動自覺法』なる千載不磨の大法を證得せらる斯法は實に心身修養上最急最要の經典にして一度習得する時は人格に一變を來して怯者は勇者に愚者は賢者に病弱者は强健者に憂悶者は快活者となり實に心身强健長壽の大活法なり而して本法の習得は實に容易にして毎日五分乃至十分間づつ凡そ一二週間にてよく熟達し毎日數分間の修養にて充分なれば劇職多忙者も婦女子といへども容易に實修し得る大特徵あり

茅原華山先生著

最新刊

歐洲戰爭と思想問題

定價六十錢　送料六錢

苟も心熱するものは徹底せる時局論を聽かんとするなるべし戰爭を文明史的、國際史的、哲學的に洞察し得るもの先生を外にしてそれ誰ぞ。本書は世界大動亂の過去、現在、未來を大觀して人生問題の根柢に說及せるもの、外人某氏曾て先生の外交を論ずるを聽き『好箇の大使』と嘆稱し又某外務大臣は先生の國際論を讀み特に先生との會見を求めたる事あり、以て先生が斯界のオーソリチーたるを知るべし。活動の現世を理解し自我實現の何物たるを知り、民俗の意義、世界の意義を解せんと期する者は請ふ速に歐洲戰爭に於る論壇第一の戰勝著たる先生の此著を手にせよ。

發行所　東京牛込區通寺町三二　三友堂書店　振替東京一四二五五　電話番町二四七一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市本所區番場町四番地

本所分工場

電話本所

二四四番・二四五番・二八〇四番

振替貯金口座東京一一九〇〇五番

東京市下谷區二長町壹番地

凸版印刷株式會社

電話下谷(長)一七〇七番　下谷二〇二六番・四〇一九番

振替貯金口座東京一八二八九番

神戸市元町通貳丁目貳百八拾七番屋敷

關西代理店

電話(長)三三〇番・二三二番

振貯口座大阪一二四一番

仝出張所

大阪市道修町四丁目三番地

電話(長)本局七五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本號に限り定價三十錢

反響

每月一回一日發行

新年號

▲ドキュマン・ユマアン（點字で書いた懺悔錄）

▲大倉喜八郎氏へ　岩野泡鳴
▲駒鳥の死（小說）　木村幹
▲額の白き女（對話）　水守龜之助
▲十月の一夜（小說）　荒川義英
▲素描（小說）　與謝野寬

▲『演劇評論』を讀む　江口渙
▲果樹園を評す　新城和一
▲バッカス讃　廣川菽泉
▲歌　三ヶ島葭、原田琴子、原阿佐緒
▲愛と童貞の價値と　生田花世

▲冬　三章　富本一枝

▲『現代婦人の生活』評論　森田草平
▲マドラフパイプの哲學　奥榮一
▲柳の新芽（小說）　岡田ゆき
▲後悔（小說）　柳澤健
▲影のやうな羽虫　沼波瓊音

▲文壇で損をしてゐる人々
▲反響社談話會　伊藤證信
▲十二月の評論　奥榮一
▲十二月の文壇　生田春月
▲信條（評論）　生田長江

▲具體的問題の具體的解決（天溪。草平。泡鳴。御風。臼川。長江）

發行所　東京市本郷區根津西須賀町二番地　反響社
發賣所　本郷元町二の二十五　振替東京二八九一四　日月社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

建仁寺派管長　竹田默雷老師著

禪の面目

總假名付
定價壹圓
郵稅八錢

語も亦雷の如く默も亦雷の加し本來の面目眞に此の如きのみ今絶版せる『默雷禪話』二巻數百則中より奇峭の論と懇到の說とを選びて百五十則を獲たりこれを世に行ふ所以のもの主として生死街頭に迷惑するものを自性徹見の境地に到達せしめむと欲してなり

鈴木大拙先生著（第七版）
禪の第一義
定價一圓
郵稅八錢

忽滑谷快天先生著（第二版）
達磨と陽明
定價一圓十錢
郵稅六錢

大內青巒先生著（第八版）
禪の極致
定價六十錢
郵稅八錢

大內青巒先生著（第二版）
青巒禪話
定價一圓廿錢
郵稅八錢

新井石禪老師著（第二版）
修道禪話
定價一圓
郵稅八錢

菅原洞禪先生編（近刊）
禪林奇行

東京小石川原町六　振替東京一五六八六　丙午出版社
東京小石川原町六　振替東京一三五三　鴻聲堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

現代療法

オキシヘーラーの出現

オキシヘーラーは磁氣の靈妙なる作用に依り血中酸素の結合を完全にし生理的機能を整調せしむる最新酸素療器なり、之れ本邦唯一の創製品にして斯道大家の實驗上我國人に適したる優良の治療器たる稱贊を博せり乞ふ公正の實驗に徵せられよ

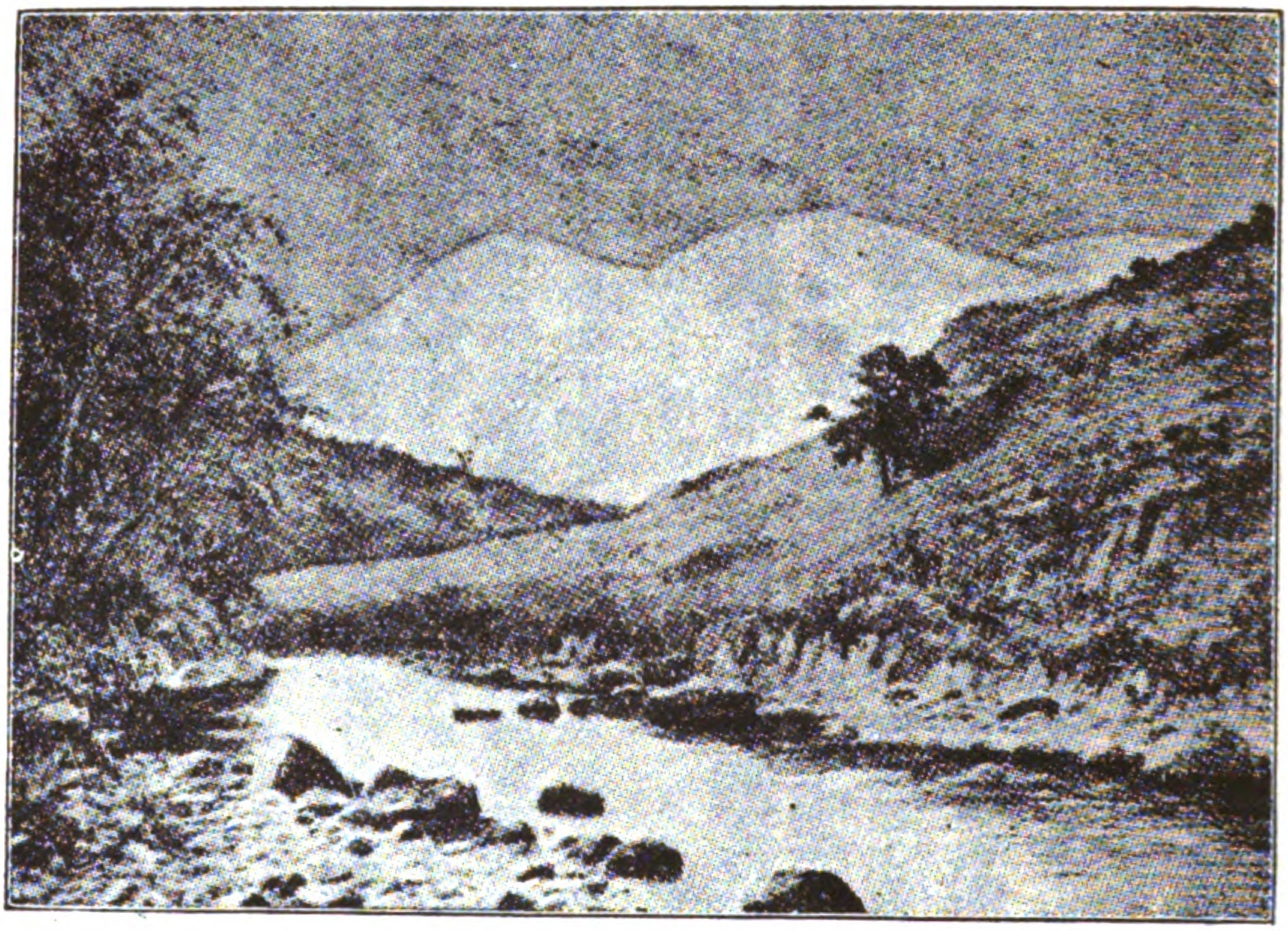
●本器の詳細說明書は御申越次第送呈す

東京市牛込區簞笥町（山伏町停留場前）

オキシヘーラー奬勵會

前島震太郎

振替東京二七七一二・電話番町四六八九



初雪

年頃の娘を持てる父母に與へて婦人の職業問題を論ずる書

西川文子

一

近頃地方の若い婦人達から、切りに手紙が來る、其の手紙は何れも申合せた樣に

　私は生活には困らぬものであるが、何んと云ふことなしに、父母の家にコウして遊んで居るのが、ツマラヌ、不愉快でならぬ、ソレで東京へ出て、何にかして見たいと思ふのですが、何にか善い仕事がありましたら御知らせ下さい。

との依賴である。

　私は斯樣な手紙に接する每に、何時も定めて此の婦人達の父母は、『噫娘にも困つたものだと云はれて居るだらう』と、想像するのである。ソコで斯かる親達に一言したい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

年頃の娘が、父母の家に居て、何不自由なく保護されて居りながら、之れを有難いと思はないで、何んとなく浮かぬ顔をして居るのは、如何にも一面我儘と見え、面憎く思はれぬでもない。併し之れには同情せねばならぬ點もあるのです。

一體人間と云ふものは、何にか自分の全力を注ぐべき仕事を見付けぬ内は、生活上に何んの不自由を感ぜぬのみか、有らゆる贅澤をすることが出來ても、眞の滿足を得ることの出來ないものです。ソレで有るから、娘が年頃になると何にかしたくてタマラヌのです。ソレを從來の習慣が囚へて、誰れか嫁に貰ひに來るまでは、靜かにして居れと動かさぬから、年頃の娘は、不愉快で、不安心で、手持不沙汰で堪へられないのです。

ソコで何んと云ふことなしに、或娘は結婚を急いで、何所へでも所謂片付たがり、又或娘は家出をするに至るのである。

若し父母に此の邊の娘の心理作用の分る理解力があつて、ソレでは何にか職業を求めなさい、適當な男と結婚の出來る時期の來るまでは、何にかするがよからう、ソレが消極的には娘の氣分を腐らして、ヤケを起させぬ藥になり、積極的には之れがドレ丈け娘の實際敎育になるかも知れぬと思ふて、悦こんで、職業に從事せしむる樣であれば、其の娘はドレ丈け幸福であるか知れない。

二

英國のフロレンス、ナイチンゲールは、世界に知らぬ人のない有名な婦人である。此の人は今より九十四年前に生れ、數年前に此の世を去つた人です。今日の英國では、モウそんなことはないが、此のナイチンゲールの若い時分には、まだ英國でも紳士の娘が職業に從事すると云ふことを、習慣が甚く嫌つたものでした。然かるにナイチンゲールは大地主の娘と生れて、何不自由なき身分でありながら、人一倍何んにもせずには居れぬ性質でしたので、非常に激烈に年の進むに從ひ、家庭で遊んで居るのを不愉快に思ふに至つた。父母は

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

之れを心配して、外國旅行をさせたり、音樂を習はせたり、或は交際社會へ引き出して見たりしたが、如何なる遊びも、彼女の心の空虛を充すことが出來ませんでした。

ナイチンゲールは之れが爲めに、長い間、苦悶をして後遂に勝利を得て、看護婦となり、世界の看護婦達の理想の人となるに至つた。彼女に斯かる經驗があるので、彼女は一生、如何なる婦人にも職業の必要なることを說いた。

而して彼女自身は、露土戰爭の時クリミヤへ傷病兵の世話に行て歸つて後の如き、大に其の健康が害されて居て、數週間も寢臺の上に橫になつたきり、身動きすら出來ず、やゝ快方に赴いたと云つても、室外へ出ることが數ケ月も出來ないと云ふ樣なことが、幾度あつたか知れないが、夫れにも係はらず彼女は同志と每日手紙を交換し、若しくば同志の來訪に接して要談を爲し、以て熱心に英國軍隊の衞生改良の爲めに盡された。而かも之れが反て彼女に愉快であつたのである。攝生の爲めに仕事から離れよと云はるゝのが彼女にとり、何によりも不愉快であつたのである。又病床にありても、自分の仕事に關係ある統計書類を見るのが樂しみで、友人の中には病氣見舞に統計書類を贈るものがある程であつた。

之れはチト極端な方で、普通の人にあつては仕事をしたがる熱心が、斯程までに强烈ではない、併しソレは比較的の話で、何人も仕事をしたがり、全心全力を注ぐべき仕事を得るまでは、眞の幸福、眞の滿足を見出さぬのが事實であるから、世の父母達は、其の娘が仕事をしたがるのを一概に抑壓してはならない、寧ろ之れは奬勵贊助すべきであると考へる。

三

成程、娘時代に切角何にか職業を習つても、結婚と同時にソレを棄て了はねばならぬかも知れない。ソウであるとしても、何にか職業を習つて、之れをしたと云ふことは、決して無駄にはならない。何時藝が身を

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

助ける樣なことがあるかも知れぬ。其の外に、職業をして居る間に受けた、實際的の訓練が其の心を陶冶する上に、ドレ丈け力になるか知れない。況んや結婚したからとて、必らずしも職業を棄てるにも及ばぬに於てをやである、日本の今日から云へば結婚と同時に職業を止める婦人が多いのは事實であるが、ソレは多くは夫たる人にまだ舊い頭があつて、妻に職業をさすのを一種の恥辱と考へる風があるからである。私は斷言する、日本に於ても遠からず西洋に於ての樣に、結婚した婦人で、職業を止めないものが、追々に增加するに至ることであらうと、今ではまだ婦人が仕事をしたがるのを困まつたものと視する人が多いが、今にソレは話にも出なくなり、今度は、日本婦人は意氣地がなくて困る、暫らく職業をして居る中に、止めたがつて困ると云ふに至るであらう。而して其の次には婦人が立派に男子同樣に職業に堪へて結婚婦人が未婚婦人の如く働くのも不思議ぢやなくなるの時代が來たるであらう。

四

更に、氏なくして玉の輿に乘るのが、婦人の理想であり虎の威を借る狐であることが婦人の希望である間は、婦人に職業の必要がないが、婦人も自覺して人とならうとの志を立てかけた以上は、何にか仕事を持つと云ふことが何によりも必要である。生きる力のあると云ふことは附屬物が一個の獨立者となる爲めに最初に必要なことである。職業は實に自覺せんとする婦人にとり修養の土臺である、獨立の第一步である。婦人解放のイロハは職人の職業問題である。職業なき婦人には、口に獨立を語り、自覺を叫び、婦人權利の擴張を語るの資格がない。

以上の如き理由よりして私は世の賢明なる父母達に進んで娘に職業婦人たれとすゝむるに至らん事を切望する。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小野小町

深草のふかき心はむすべども
　情はとかぬよな〳〵も
九十九度をかぞへけり
　こよひばかりはいかにして
槇の板戸に音もなく
　閨のひまもる有明の
月を重ねし雪あかり
　百夜と指のおきもせで
ながき離別の袖のつゆ
　かけて思ふと君しらば
つれなき我をゆるしませ
　浪の花咲くわたつみの
みるめは人の苅りはてゝ
　なき浦に住むあまの身ぞ

あはれ幾夜の雨風に
　濡れつ吹かれつ行きなやみ
霜に夜つゆにそぼちつゝ
　立ちわづらひしかよひ路の
うさはさすがにしるものを
　うつゝにひとめ見しことも
なこその關をみなとぢに
　すゑてゆきゝの人まもる
我にはゆるせ夢の春
　さあれうつろふ人のよの
花の色こそ仇なれや
　苫の衣のうつり香を
ともねの秋にとめ來かし
　さらば少將いざさらば。

さわらび

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子の潜在能力と婦德

薄井秀一

一

細胞倫理を主張して居るクラインゾンゲルは道德の根本を説いて、『吾人は先づ人類の身體及び人類社會が如何に發育するかを明かにしなければならぬ。かくて人類の身體及び社會發育の規律を明かにした後、此處に初めて自然に相當せる倫理を組織する事が出來る』と云つて居る。

私は女子の道德、所謂婦德なるものに對しても、直ちに此言葉を適用する事が出來ると思ふ。何となれば古い女子の道德は、女子の自然が如何なるものであるかを知らず、又女子が如何に發達す可きものであるかを明かにせずして、唯之を壓迫し、妄りに服從の道德を強ひた樣な形跡があるからである。勿論女子の道德の標準を明かにする爲には、女性に關する自然史を研究すると共に、それ〴〵の國民が有する社會的事情、家庭的事情をも考へなければならぬのであるが、我々は婦德の第一義を明かにする爲に、兎に角先づ女子の自然的本性を研究するの必要がある。

素よりそれが婦德の第一義を明かにするの目的ではなかつたけれど、近代の女子が覺醒して、所謂婦人運動を始めて以來、其主張する權利が正當であるか否かを知らんとする爲に、歐米諸國に於ては、あらゆる方面から、男子と女子の能力に關する比較研究が行はれた。然し未だ結論には達して居らぬ。

即ち、女子は男子に比べて智的にも、精神的にも、肉體的にも絶對に劣つて居ると云ふ論が陳腐である如く、女子も修養次第男子と同じ程度の能力を發揮し得

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ると云ふ論も未だ一般の認識する處とはなつて居らぬ種々の議論を綜合して一口に云へば、男子と女子とは各々異つた長所を持つて居る、優劣を定める譯には行かぬと云ふ邊に彷徨して居るらしい。

二

我國に於ても此二三年來いろ〳〵の人々に依つて男女の特性が研究され、生物學、生理學、醫學等の上から、其根本的相違なるものが論ぜられた。而して其結論を見ると、女子の能力は社會的活動に適して居ない、境遇と敎育の如何に依つて、女子が精神的にも肉體的にも男子と匹敵し得る樣になると云ふのは誤謬である、女子は矢張り從來の形に於て妻となり母となるのが其天分だと云ふ點に於て殆んど一致して居る樣であつた。

自然科學の上から男女の相違を研究し、先天的に異る兩者の天分を考へると、女子は男子と比較して何處迄も其本然に於て非活動的であり、受動的であり家庭的であると云ふ事は明かだけれど、かるが故に女子は徹頭徹尾從來の形に於てのみ妻となり母となるのが其天分であると定めて終ふ事は出來ない。又女子は長い間弱者であり劣者であつた如く、何時迄も弱者であり劣者であらねばならぬと測斷する理由は少しもないのである。

忌憚なく私の意見を述べれば、私は寧ろ多くの人々の議論に反對して、女子は自ら覺醒する事に依つて、或は今後の境遇と敎育と修養とに依つて、今迄人人が想像して居たよりもズット以上に幾多の能力を發揮し得るに違ひないと思つて居る。今後の女子が如何なる能力を如何なる程度まで發揮し得るかは俄かに斷言する事は出來ぬけれど、兎に角更に進歩し發達す可き能力が、いろ〳〵の事情の爲に隱れて居た事は慥かである。然う思はれる節は澤山ある。

何となれば從來の女子の境遇を考へ、新しき女の將來進まんとする途を思ひ、そして自然科學の上から見ても、又變つて行く新しき時代の上から見ても、從來

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私共の知り得る歴史上の女性なるものが、女子が本來に於て有する個性の全部を現はしたものだと思ふ事は何うしても出來ないからである。

三

獨逸の敎育學者の研究する處に依れば、上流社會に生れた兒童と下流社會に生れた兒童とは、其體力に於ても其腦力に於ても著しき相違がある。卽ち境遇及び生活に於て缺點の多い下流社會の兒童は、其體格及び學業の成績に於て甚だしく劣つて居る事を統計の上で示して居る。斯くの如く惡しき境遇に在る者が善き境遇に在る者と比較して、常にその發育に於て劣り、其持つて居る天分をさへ發揮する事の出來ぬのは、數多の實例が證明しつゝある。

處で從來の女子は如何なる境遇にあつたか、殊に我國の古き女は、其敎育に於て、其道德に於て、其社會的地位に於て、又其與へられたる仕事に於て如何なる境遇に在つたかを考へて見ると、必ずしも善良な境遇には居なかつた。公平に考へても、隨分不遇な地位にあつたのである。

假令彼等は學者の唱說するが如く、先天的に男子の動的なるに對して靜的であり、或は男子の消費的なるに對して貯蓄的であつても、現在の如く弱者であり劣者であり、且つ無能力者であらねばならぬと云ふ謂れはない。又月經、姙娠、分娩等の生理的現象が女子の發達を妨げたとしても、それ丈の理由で彼等は現在の如く智的にも精神的にも肉體的にも男子に比して著しく劣り、且つ原始的性格を餘計に殘して居るとは思はれぬ。

思ふに從來彼等の與へられた長い間の敎育や仕事やそして社會的地位や道德が、前に述べた先天的の原因以外に無智にして無能なる今日の女子を造り上げるに與つて力あつたのは明かな事實である。私は二三の例に就て境遇の爲に、卽ち男子から受けた壓迫と迫害との爲に女子が發揮し得可き能力を發揮する事の出來なかつた理由を少し述べて見たいと思ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四

從來の女子教育と云ふものは、一口に云ふと、男子の爲に便利な性格を養成するのが目的で、女子の智能を啓發したり、其本性の全部を發揮せしめやうとは少しもしなかつた。だから古き女子教育の根柢は男子に對する服從の道德で、此外には僅かばかりの裁縫及び料理に關する智識を與へたに過ぎぬ。多少餘裕のある家庭に於ては娛樂に屬する音樂や儀禮を教へたけれどそれも男子を娛ましむるのが一つの目的で、夫以上には殆んど何物も敎へなかつた。

舊時代の女子敎育は斯くの如く何物も敎へず、啓發にも力めなかつたのみならず一方からは寧ろ女子の智的或は精神的に進步發達する事を、何か惡事でゞもあるかの如く、却つて之を呪つた樣な形跡さへ見える。女子が無智の人間となつたのも當然である。女子が性的關係以外に男子の友人となる事が出來ずして、常に超え難き隔りを有しつゝ進んで來たのも無理がない。

そして舊時代に於ける女子敎育の根本であつた服從道德は、直接に女子を退化せしめなかつたとしても、其精神及び道德に支配されて起る種々の事情は慥かに女子の精神的發達を害して居る。例へば、女子はすべての點に於て男子よりも劣つて居る者であると敎へられ、時としては汚れて居る者であるとさへ敎へられてそれを信じて居た女子は、既に何等の發奮もなければ勇氣もない。裏長屋に生れた子が學校へ行く事も出來ず本を讀む事も出來ず、上流社會の子供とは人種が違ふ如く感じて、自分の爲す可き仕事は自分の父が爲しつゝある日雇になればそれで好いと滿足して居る如く、彼等は夫に服從してさへ居れば、夫に貞淑でさへあれば自分の務めは濟むと考へて居た。そして妻の幸不幸は一切夫に依るものであると信じて女子自ら進む可き途を全く知らなかつたのである。

そればかりではない。舊時代に於ける服從道德は、自ら進まんとする女子があれば、悉く頭から其機鋒を叩き壞して終つた、何か爲す可き事があつても、云

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふ可き事があつても、それが少しでも從屬者として或は奴隷としての範圍を超えると、直ちに出しや張ると云つて抑壓されたものである。だから彼等の中の或者は、男の或る能力と同じものを持つて居つても、服從道德を中心とする貞淑、溫和等の名の下に束縛されて、些しもそれを發揮する事が出來なかつたのである。

五

斯くの如く舊時代の女子は、服從道德を中心とする智的內容の乏しい敎育に依り、少しも進步する事が出來なかつたと共に、其與へられた仕事も女子の發達を促すに足るものは殆んどなかつた。

人は努力に依つて進步する、努力のない處に進步はないが、無意味なる努力は唯其人を疲勞せしむるのみである。車夫は每日非常な努力をして居るけれど、唯無意味に其日々々を生き、終に疲れて死ぬ以外には進步もなければ後に殘る何物もない。古き女が與へられた仕事に對する努力も、實は車夫が車を曳いて走ると同じ樣に、唯裁縫、料理、掃除等の單一なる仕事を繰返した許りで、其處に何等の進步も見出す事が出來なかつた。幾度かそれを繰返した時に彼等は裁縫や料理や掃除に就て多少熟練したのみである。硏究も希望も愉快もなかつた。

斯う云ふと古き女の仕事は如何にも無意味で、そして之を輕蔑する樣に聞えるかも知れぬけれど、然うではない。私は舊時代に於ける是等の女の仕事が大切なものである、貴いものである事は十分認むるけれど、同時に女子が其能力を發揮する方面から見て、其仕事の如何にも單一にして無意義であつた事をも認めない譯には行かぬのである。

そして是等の裁縫や、料理や、掃除の樣な其日暮しの蓄積的性質を帶びぬ仕事が、彼等に男と並んで進步すべき餘地を與へなかつた事は云ふまでもないが、更に極端な論者は、此種の仕事が舊時代の女子の頭腦を散漫にし、粗雜にした事は非常なものであると云つて居る。私は今直ちに此論に贊成する事は出來ぬけれ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と、兎に角是等の仕事が古き女をして智的にも精神的にも之を發達せしむる善き階段でなかつた事及び是等の仕事の爲に他の能力を發揮する機會を與へられなかつた事は十分に認識し得られる。

此外、古き女が家庭にのみ閉ぢ籠つて、進んで止まぬ活社會に接觸する事の出來なかつた事、袖と裾の長い着物や一本々々の毛を揃へて美くしやうとする髮の爲に時間を取られ、活潑に働く事の出來なかつた事などを數へ立てれば、古き女が如何に種々の方面に於て其進歩を妨げられたかを知る事が出來る。

六

假りに女子は先天的に男子よりも劣つて居るとした處で、斯くの如く考へて來ると、舊來の敎育や、仕事や、社會的地位や其他一切の境遇は女子をして益々無能力者たらしめたと云はねばならぬ。

一面から見れば古き女の無智無能は男子の造り上げたものだと云つても好い。男子が自ら女子を無能力者とし、之に少しも進歩發達する機會を與へずして、何時迄も無能力者として之を取扱はんとするのは餘りに殘酷ではあるまいか。

思ふに女子は更に進んで大なる自由と機會とを得たらば、種々の方面に於て新しい能力を發揮するに違ひない。現に最近二三十年間の敎育に依つてさへ我國の女子は非常に進歩した。敎育の盛んな歐米の婦人が著しく進歩しつゝあるのは何人も知る處である。我國の婦人の中にも今や全く新しき人間として次の時代に生きんとする人々は澤山あるではないか。そして是等の女子は深き内省と煩悶とに依つて自己を意識し覺醒し、古き女に見る事の出來なかつた能力を發揮せんとする傾向が見える。

蓋し舊時代の婦德なるものは、女子を壓迫して無智無能とし、無能力者に對する精神を根柢として造つたものである。クラインゾンゲルが倫理の根本を定める爲に、人類の身體及び人類社會の發育を明かにしなければならぬと云つた如く、私は婦人の道德を考へる

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に當つて、先づ女子か其自然に於て如何なる素質を有し如何に發育すべきものであるかを知る必要があると思ふのであるが、以上述べた如く、果して新時代の女子は從來の如く劣者でもなく弱者でもないならば、女子を束縛して無能力者とし、潜在せる能力を發揮せしめずして之に强ひた服從道德の將來到底維持される筈はない。

七

之を要するに從來の女子は、男子を主とする社會に於て其從者である、男性文明の尙ばれた時代に於ける弱者である、從つて其道德は服從主義であつた。そして女子は過去の時代に於て精神的に對當の人格を認められなかつたと共に、其持つて居る能力をも十分發揮する事が出來なかつたのである。

けれども古きものは何時迄も古き儘の形を保つては居ない。先づ思想的に女子も亦男子と同じ標準に於て其人格を認められると共に、彼等自身の覺醒に依つて女子の精神的革命が來た。之を社會的に現はれた事實に見ても、新時代の女子は既に或程度まで古き道德上の束縛から解放されんとして居る。彼等の意志に依つて智的及び精神的敎育を受くる便利も與へられんとして居る。男子と同じ立場に於ける社會的活動も或程度まで認容されんとして居る。家庭の煩はしき仕事からも免れる事が出來ないでもない。

勿論女子に關する是等の改革は思想的にも社會的にも未だ殆んど其緖に就いたばかりであるけれど、彼等自身の努力に依つて、今まで現はす事の出來なかつた潜在的能力を發揮する機會の次第に多くなつて來たのは明かな事實である。

斯くて女子がその隱れたる能力を發揮し、從來の無能力者が有能力者となつた時、無能力者の道德であつた從來の婦德は、先づ此方面から癈て行かねばならぬ。

斯くて何等の束縛も壓迫もなしに女性の自然が現はれた時、其處に新しき女の眞に自覺せる道德が組織されるに違ひない。（完）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

落葉焚く日。

T夫人へ

山田きよ

船が波止場を離れる時、あなたのお振りに成つたハンケチが、灰色した群衆の中から、一際白くちら〳〵としたのを、私はまだぢつと見てるやうな氣持がいたします。

私は自由な長い一人旅をして、久振りで都會に歸つて來ましたら、何となく私一人だけ元氣で居るやうに思はれて、周圍の人達の顔付きが、みんなぼやけて見えて堪らないので御座います。誰に逢つても、誰と話しても、みんな沈んで居るやうに見えるのです。私が一ケ月前に旅にゆく迄、はつきりしてると思つた人の眼までが、何となく力なくよどんでるやうに思はれるので御座います。私は此人達に慰められ、見送られて行つたかと思ふと、自分のその頃の悲慘な姿が思ひやられて情なくなりました。

* * *

廣い平原を限りなく走つた汽車が、さも疲れたやうに、冷たい空氣の中に眞白な息をついて、寂しい停車場に横はりますと、私はその度毎に毛皮の外套にくるまつて、鈴の鳴るまで僅かの時間を歩いてみました。ハルピンにゆく米國領事と、ペテログラード迄通してゆくといふロシア婦人とが、私といつも同じやうに出て歩きました。十月の末と言ふのに、すつぽりと被つた毛縁の頭巾を通して耳がぴり〳〵として、薄い靴の褄先きが痛くなつて來ました。見渡す限り森もなく林もなく山もなく、只廣い野原の地平線に、赤々と夕陽の沈みゆく姿をぢつと見入つた時は、私の身も心もその雄大な自然に吸ひ込まれるかと思ふ程でした。旅立つ前まで私の胸に、いろ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いろの形に蟠まつて居たむら雲は、綺麗に拭ひ去られて、たつた一ッの影を殘す外は、もう何を思ふ事も無くなつて了ひました。都會を離れ、家を離れ、人と離れて、自由な氣分に浸されて旅をつづけて行く時には、夢のうちにその影を握つて居る許でも十分の滿足が御座いました。

　海を渡つて歸る時も、甲板の籐椅子にねころんで居ますと、冷たい柔か味のある風が絶えずおくれ毛を吹いて、知らず〳〵私に歌をうたはせました。私は搖籃にねかされた子供のやうな氣持で、妍を競ふ女のやうな浪の姿をみて居ました。

『如何です、あの燈臺に住ふ氣になれましやうか。』

　乘船してから知合つたMさんといふ中年の紳士が問はれました。私が默つて眼鏡を出してみて居ますと、

ハルビンの郊外

『永くつて一ケ月ですね』と附け足されました。

海の眞中に浮上つたやうな、岩ばかりの草も木も無い小さな島でした。私は旅に出る前に、斯うした島の生活に就いて、或人と烈しく言ひ爭つた事を思ひ出しました。私は何となく微笑れて、

『場合によつちやあ一生住んで居られます』と答へました。

『何一生ですつて？』

『えゝ、けど一人ぼつちなら半日でもいやです』

Mさんは何と思つたか、そのまゝ默つて只島をみて、にや〳〵と笑つて居ました。

　その夜私は部屋着の胸を飾つて居る白いリボンの端を引ちぎつて、私の心に寫る影をそれに短かく書きました。然してまだ強烈な匂ひの拔けない、ムーゲットの香水の空瓶にをさめて、口許を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かたく封蠟で閉ぢてしまひました。

夜更けるのを待つて、私は客室の小さい丸窓を明けて、そつとそれを海へ投げ込みました。私の生命の影は音もなく瞬間に消え去つて了ひました。何といふ果敢なさでしたろう。あまりの靜寂さに身ぶるひいたしました。何事もないやうに靑い月がゆら〳〵と、金や銀の布を晒してるやうに、大きな浪の上に美しい影を落して居りました。

『一秒毎に地球の上では誰かゞ死ぬのだ、宇宙では恐らく一秒毎に何處かの世界が滅ぶのだ』と言ふ『星の世界へ』のテルノウスキイの言葉が浮んで來ました。

　私は自分の心の影を包んで居る、華洒な透き通つた瓶が、私の投げた力の弱さを嘲笑し乍ら、永遠に私から離れて行くのを喜ぶやうに、浪に弄ばれつつ、だん〳〵に沈んで行く有樣を、私の未練な寂しい心が、思ひ切り惡くいつ迄も見て居るやうに思はれて、何となく腹立しい氣持になりました。

ハルビンの郊外

『死ぬ事を恐れるやうになつたのは、お前がほんとに强くなつたのだ。お前の遊戯好きのその眼は、何度自分の體をこの浪に任せやうと言ふ事の爲に微笑したらう。いつでもそれを最も安全なお前の休息所のやうに考へて、お前の弱い心を滿足させ安心させて居ただらう。今はそれが凡て違つて居たと知つたらしい。祝福しやう。祝福しやう。』

　私のぢつと見詰めて居る浪の姿が、海の言葉を巧みな表情を持つて私にさう示したやうでした。

『世の中は恐ろしくない。自分に對して最も恐ろしいのは自分自身だ、さうして絶對の戀人も自分自身だ』

永い間海に向つて立つくして居りました後、私は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

冷えた體を白いベットに包み乍さう言つたのでした。

曉近くになつて居りました。私は朝になつてからぐつすりね込んで了つたので、部屋のボーイや食堂のボーイが心配して戸をたゝく迄寢坊して了ひました。

船ではいつも髮を前で分けて髷の處で編で居りました、一番無雜作で旅には宜しう御座います。お別れの前夜あなたのお髮を、色々の形に結んで見ましたが、あの中でやはり前に鬘を附けたのが、一番あなたにお似合でした。私はどうかしてあの鬘が欲しいと思つて居ります、自分の髮ではあゝいふ工合にうまく癖が附きませんし、また思ひ切つてつける事も出來ません。あなたは日本人の家へゆく時だけは、少し氣まりが惡いやうだと仰いましたけれど、世間並といふ事や、流行に合せてゆくといふ事は、個性を無視したやうになつて惜しい事だと思ひます。自分に似合ふ化粧法や、それから髮や姿や色の調和なども、みんな自分を現はしたのが最も美しいものだらうと思はれます。あなた全體によく調和するあのお髮におあげ遊ばすやうおすすめ致します。

先日フランスの小説を譯してみやうと御計畫なさいましたが、其後どうなりましたか、此頃あなたの旦那樣が佛像などを、支那から取よせて、しきりといぢくつておゐでになるのと、面白い對照だと一人で微笑で居ります。

私があなたのお宅で一番氣に入つたのは、あのぶだうの葉のからまつて居るエランダで御座います。冬なので枯れて居りましたが、夏の夕暮など靑々した葉が一ぱいにおほひ被さつて、その繁みで薄暗くなつたテーブルに向つて、ザクースカで甘いお酒でも頂戴したら、定めしおもしろい事だらうと思ひました。

冬でもガラス戸の方に防寒の御用意なすつて、ストーブさへお据ゑに成れば、午後のお茶には一番よい處で御座います。

歸つて來てまだ間もないのに、私はもう周圍の人達と同じやうな、暗い寂しい顏になつてゆくやうに思はれます。また旅に出ましやう、そしてまたお目にかゝりましやう。（大正三、一一、一四）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

倫敦通信

K生

昔の戰爭は、數時間戰つて、數日休戰すると云ふ風であつたので、負傷者の始末も付け安かつたが、今の戰爭は、數週間、晝夜續けさまであるから、負傷者は實に氣の毒なものである、數日間、戰場に棄て置かるゝことが敢て珍らしくない。殊に今回の大亂は、戰線數百哩にも亘ると云ふ樣な次第であるので、戰場の慘は、到底筆紙の盡し得る所ではない。

戰場から遠く離れて居る、當倫敦なども、白耳義の市民が二百萬人も逃げ込んで來ると云ふ樣な次第で、市の有志が、市民全體に白耳義人に都合のつく限り、室を一つなり、二つなり分與するやうにとすゝめても、置ききれないので、英國中の小都會へ分送して、白耳義人保護の道を講ずるに忙殺されて居る。倫敦初め各都市の各倶樂部には、其の市在留の白耳義人の姓名と宿所とを廣告してあつて、一家チリ〴〵バラバラになつた白耳義人が、再會の喜びを得ることの出來る便宜を計つて居る。ソレに負傷者が續々後送されて來るので、英國中の病院と云ふ病院が、一杯になつて居る樣な次第である。佛蘭西に於ての如きは、一千二百名の負傷者に對し、看護婦二名と云ふ割合にしか付かぬ程に負傷者が多いので、病院の慘狀、戰場以上だと云ふことである。

ソレに氣の毒なのは和蘭で、人口五百萬しかない小國へ、白耳義人が百萬人も逃げ込んだのでどうすることも出來ないとのことである。尙ほ珍話を聞き込み次第、續々通信します、今回は之れにて御免下さい。

兒童監督委員の仕事

千九百〇七年、卽ち今より八年以前に、倫敦市の或區會で、就學兒童中、其の父母の貧窮にして、辨當を持て學校へ來ることの出來ないものに、辨當を給與しやうではないかとの議が出て早速決議になつて、之れを試み、其の事務を擔任する、委員を兒童給與委員と稱した。

さて此の試みが極めて好成績を示したので、其の二年後には倫敦市の殆んど凡ての區が之れを實行するに至つた。

又辨當のみならず、衣服、靴なども給與するに至り、更に兒童の健康狀態、其の家庭の衛生狀態などに就ても注意し、進んでは兒童卒業後の職業問題に就ても、此の委員が相談相手となるに至つた。ソコで給與委員と云ふ名が兒童監督委員と改稱さるるに至つた。

倫敦市の兒童は此の監督委員あることによつて非常に便宜を得て居ると云ふが、日本の東京市などに於ても早晩、此の兒童監督委員を拵へる必要があると考へる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

科學的婦人論

高野重三

(一)生物學上より見たる婦人

はしがき

近年我國にも大分婦人論が盛になつて來ましたが、其甲論乙駁は多くは刹那〳〵に起る感想論か、時々變化し易き常識論が流行して、廣く科學の事實に基づき深く學理の根柢を窮めて立論したるもの丶甚だ尠きは私の常に遺憾として居る所であります。感想や常識に基いた議論は讀んで面白く、聴いて痛快ではありますが、婦人論の如き複雜したる問題を解釋するには甚しく不十分であり、之れが解決には頗る不確實であり又其實行には大に世人を謬まらしむるものが多からうと思ふのであります。此趣意から先づ手始めに昨年夏本誌へ米國の有名なる社會學者ウワード氏の女性中心説を譯出し始めました。然るに同時に雜誌「廿世紀」に星岡學人が同樣の事を始められましたのを發見しました。喜んで一讀して見ましたが、抄譯丈に稍々簡略に過ぎ、素人には一寸一讀した丈では十分其意味を納得する事が出來にくい樣にも思はれますが、譯文は誠にキビ〳〵して何等生硬の跡なく、同氏の主張の大意を知るには十分と思ひましたから、同氏の學説の紹介は快よく同紙の同學人に譲り、私は本號から別方面で毎號英米の名著の内で私の趣旨に合ふものを譯出紹介して、此問題研究者の參考に供したいと思ひます。

ソコで本號に抄譯したのは彼地のヂエン、クリスチー女史の「婦人の進化向上」と云ふ本の第一章「人類の物言はざる祖先」と云ふのであつて、私は之れを題目の如く「生物學上より見たる婦人」と云つて置きま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

した。本文列擧の事實は動植物の學者は素より、其本の一二部讀んだ方々は皆熟知の事柄ではありますが、女史が之れを婦人論と結付けた所に大に興味があります。又未だ是等の事實を知らざる方々には實に盡きざる面白味があらうと思ひます。女史は餘りに同性の爲めに氣焰を吐かんとして聊か偏頗の嫌はありますが、大體に於ては女史の主張は正しいと私は信じます。多年の間、人類は男女孰れが優れりやと種々議論を鬪はし來りしが、終に今日迄滿足なる結論に達する事出來ざりし其譯は、一方に其優秀なる點を擧ぐれば、他方に之れに對し同等なる優秀點を擧げ來り、而して何れにしても化學的に其定量又は實質を分析する事が出來ざるからである。

全體、男女間靈肉共互に密接の關係を有して居るにも關はらず、兩性の優劣を論ずるが如きは一見無用の沙汰の如くなるも、人類の歷史ありて以來何れの時代にも何かの形にて之れを論せられ、只に文學に於てのみ顯れ來りしのみならず、法律に迄其優劣が定められたのである。故に人類に關する問題中、此問題は最も重要なるものゝ一であつて、而かも人類の男女の間柄と同じ關係が其以下の生物の雌雄の間にあるにも關はらず、此問題が其間に起らざるは、偶ま〳〵人類が他の生物より智識に於て進步して居るからである。而して此問題は習慣風俗等が永く一定したる時代に於ては靜かにして起らざりし場合あるも、時を經て必らず再び起り、兩性互に優劣を爭ひ終に女性は男性に征服せられて、戰は女性の退陣を促せしも未だ全敗迄には至らぬのである、如何となれば女性は心の底より納得せざるからである。

而して近年に至り進化論一度唱へられてから、創世記にあるが如き順序で生物は各種特別に創造せられたとの說は何等科學的の根據なきものとせられ、生物は最も單純なるものより種々なる複雜高尙なる生物に進化するに至つた。又今日の生物學者や自然科學者は寧ろ生物の原始時代は雌性のみであつて、後に至つて種屬に變化を起し。從つて優秀なる子孫を得ん爲め、雄

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

性が現出し、而かも其後永き年月の間無脊椎動物は勿論多數の有脊椎動物に至る迄雄性は雌性よりも體格は短少で其上に其目的は單に授精するのみにあると云つて居るのである。

蜘蛛及び蠶等の昆蟲及び魚類等は僅かの例外を除き皆雄の方が雌よりも短少で鳥類の内にも屢々其例を見るのである。而して生物が段々進んで終に齒を有する生物に至つて、始めて雌雄の大さ、色合及び身の飾り等餘り差違がなくなるのである。哺乳動物や鳥類になつて其大部分は雄の方が體が巨大となる、而して之れは雄が雌の甘心を得ん爲めに雄と雄との間で競爭して自然に其體が巨大となつたのである。譬へば下等の動物間には雄が僅かに雌に寄生し、或る動物の雌の如きは自分の體に二個の袋樣のものをもつて、それで二匹の雄を蓄へ、萬一一雄を失ふも他の一雄にて受精の働をなすなどの奇習がある。而して鳥類や哺乳動物の雄の間では雌を得んが爲めに互に爭闘して自然其體格も巨大となるのである。

此の巨大になつた雄の體格を見、且つ創世記に女子は男子の後にて男子の爲めに造られたりなどとの記事を讀むによりて、一見雄性又は男性が雌性又は女性に優つて居ると思ふのは無理からぬ事である。故にウワード氏の如きは「有機界に於ける總てのものは男性中心であると世人も確く信じ學者も漫然之れを唱へ、而して之れを證するに引用し來る生物界の事實が多く之れに相反するにも關はらず、却て之れを例外なりと言做し、學俗相率ゐて之れを說き終に男性中心說が世界一般の定說となつて容易に衰へず、僅かに稀に思慮に富みたる研究者が日々接する事實によりて漸やく此說に疑を抱くに至たのである」と云つて居るのである。

併かし有機界に於ける系統的及び科學的の研究はわずかに十九世紀になつて始まり、進化論の如きも漸やく其半ば頃より盛んに唱へらるゝに至つたことから考へて、男性中心說の衰へるにはまだ中々時のかかるは無理からぬ事で、女性中心說を唱へ始め且つ其結極を窮めんと企てしはウワード氏を以つて唯一の研究者と

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

稱してよいのである。かのダーウキン氏でさへ其唱へし進化論がかゝる問題に迄波及するものとは想到せざりしものと見え、やはり男子を以つて女子に優れるものなりの考を有ち居りしが如し。而かし之れはダーウキン氏には無理からぬ事で、同氏は專ら生物一般「種の起源」に就いて其研究をして、別にかゝる男女間の問題に關しては特別に研究しなかつたのである。此欠陥を補つたのがウワード氏である。而して同氏の論は其基礎をやはりダーウキン氏の進化論に置いて居るのである。

全體、智識の進步は誠に遲きもので、譬へば生物學の如きも漸やく十九世紀の初め頃より起りし學問で、又十八世紀では化石なるものはノアの洪水で出來たものであるとかないとかと盛んに論せられたものである基督降世四百年以前にかのアリストオトルが動物を分類せし其分類法が千八百年間も何等變化なくして行はれ而して其哲學は今も尙ほ今日の敎化の基となつて居るのである。植物學及び其他の科學にしても同樣なる遲遲たる進步しきやして居ないのであるから、男女兩性を科學的に研究する事の遲れ居るのも敢てあやしむに及ばぬのである。

生物學によれば生物は最初雌性より始まり、今尙ほ此の地上に生存して居る生物の過半は何等雄性より受精せずして生出して居る、ウワード氏の說によれば「雌性は此の地上に最初に顯はれ且つ最も重要なるのみならず、實に生物の幹にして雄性は單に血脈を交錯するの目的に必要であるのみである。故に雌性は單に其種屬を形成するのみならず、種屬ソレ自身である。」

若し此の說にして謬なからしめば普通世人の信ずる如く、雄性の精子細胞は生命の源泉にあらずして、新らしき種屬を生せしむる一種の補助機關に過ぎず。而かも雌性の生殖細胞は人類に於ては男性の精子細胞に比し三千倍大である。

下等なる生物は最初分體又は出芽によつて生殖し、漸次向上するに從ひ雌雄兩性に別かれ、此の區別によりて其性質にも自然差違を生ずるに至つた。而して之

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れを論ずる前に心得置く可き事は、生物が雌雄に別かるゝ前に其原因となる可き事情のある事で、則はち營養の如何と云ふ事が最も必要な條件である。而して生殖は最も密接に營養と關係あるのみならず、寧ろ前者は後者の結果である、故に種屬存續上の利益のために殊更に女性の營養を豐富ならしめて居るのである。譬へば植物界に於ては營養の十分なるものは雌花を生じ昆蟲界や動物界に於ても光線、熱度、濕氣の十分にして、則はち營養の豐富なる場合は多く雌を生じ。其反對の場合は多く雄を生ず。密蜂の女王は營養豐富の結果として生じ、雄蜂は其貧弱の結果である。蛾蝶の如き同樣の狀態を呈す。惡水や氣候不順や、或は池水乾燥の場合は雄のお玉杓子を生じ、是等の營養がよき程其雌の數が增加するのである。それに姙娠中の期間の長短も大に雌雄の生殖に關係あると見え、美麗なる蛾程形體變化の期間長く、其短かきものは概ね雄となる斯の如く自然はありとあらゆる手段を用ひて生物界に於ける雌性の雄性に比し重要なる事を私共に感せしむるが如く見ゆるのである。

人類に於ても事情は同じで、田舍よりは都會、貧困の者より富有のものの内に多く女兒が生るゝ傾きがある。戰爭や、饑饉、疫病流行の場合は女兒よりは男兒の方が多く生れると云はれて居る。サクソニー州などでは食物の直段の高下によつて男兒の出產の數が上下すると記るされてある。而して女性は男性に比し發育の高尙なるもの丈、其出產前の狀態の善き事の必要があることは總ての生物學者によつて唱へられて居る所である。

右は出產前の話であるが、出產又は發生後でも同じで、譬へば植物界に於ては雌性が常に雄性よりは長く持ち且つ重要なのである、雄花は雌花よりは早く咲き數多く、且つ葉と其形に於て雌花程大した差違がないのである。則はち雄花は雌花程其發育に力を要せず、又其發育の程度は完全なる葉と完全なる花との中間に位するものである。落葉松(カラマツ)の最も繁茂したる時に雌花が咲き、其精力の衰へ、其元氣の失せし頃

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

雄花が咲き始めるのである。松柏中の最も强健なる種類は皆雌樹である。苧麻の如きもソーである。花粉の生ずる迄は其雌雄何れなる哉を識別するは難く、花粉散じて後其雄は枯れ始め又終に死するのである。雄は單に雌に授精するの役目あるのみで、其役目が濟めば前陳の如く枯れ、後に雌は殘りて丈長く且つ强くなり又實を結んで其雌より麻が取れるのである。

　更に昆蟲界に於ては前にも述べし如く其種類幾百萬あるも、雄は雌に比し其體格は短少で、其役目は單に雌に授精する丈である。而かも中には此役目さへなす事出來ざるものもある。昆蟲によりては其營養に必要なるものは只に其生れ出た時に其體內に有して居たもの丈で、其他には何等外部より之れを吸收する機管を有して居ないものである。雄蚊の如きは其口は雌蚊とは大に異り偶々營養を外部より取る場合も其方法は雌蚊とは異つて居るのである。蜜蜂の如きも其雄は授精以外何等用なきもの故、其數餘り增加する場合は直に雌蜂に咬ひ殺さるゝのである。雄蟻の如きは只食物を喰ふ外に藝なき大怠者なるが故に、若し雌蟻が之れを養はざれば直に餓死するのである。而かも蟻類は其智慧と所作に於ては生物中最も私共人類に類似して居ると稱せられて居るに見て、其儉約なる事、又其實務的の材のある事は全然其雌のみの特有する性質である事は頗る面白き事である。

　彼等の仕事の種類の多き事は驚く可き程で、之れを人類に譬ふれば、彼等の內には大工もあれば左官もあり、煉瓦屋もあれば織物屋もあり、山掘、彫刻家、屋根屋、天幕屋等も亦たあるのである。彼等の巢は其構造に於て驚く可きものであつて、之れが破れた時の要心に裁縫師もあれば、又空氣の流通なども手ぎは能く出來て居る。彼等の內には立派な技師もあると見えて隨分幅の廣き川の底に長きトンネルを掘つて居る事もある。又百姓もあれば、之等が作つた穀類を蓄藏する役のものも居る。かの智者のソロモン王が「汝怠者よ、蟻を往つて見よ、而して其ヤリ方を考へて賢くなれ、彼れは指圖者も支配者もなくて肉を夏集め、其食物を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

秋貯ふ」と云つたのも尤である。之れを人間社會に見るに、女性の優秀なる發育性、持久性及び生氣のあることは著しきものである。成程一般には男兒の方が女兒の方よりも數多く生るゝ事は事實であるが、初年に於ても又其後の五年間に於ても、男兒の死亡は女兒の死亡に超えて居る事は英國でも佛國でも事實である。蘇國に於て出產と死亡とに關する調査をして左の如き報告をなし、又ダーウキン氏も之れを引用して居るのである。則はち蘇國にては「一生の內何れの時にも男子の死亡率は女子のそれに超ゆ。殊に衣服も、食物も、又其取扱方も殆んど相同じき幼兒の時に於て男兒の死亡率が女兒のそれに超ゆる事實は確かに死亡率の高きは男性の確かなる、自然的なる又體質上の特徵なり。

更に驚く可き事實は私生兒中、男の死生兒の方が女の死生兒より多い事である。而かも之れは歐羅巴と亞米利加と氣候も生活の狀態も甚だ異つた國に於て其結果が同じきに見て益々其事實である事を確める事が出來るのである。其原因は何であるかと云ふに、姙娠中之れを隱蔽せんとして殊更其腹部を壓搾し、常に不安の念に襲はれ、而して多くの場合生活上過度の勞働に服せざるを得ざる等にて、かゝる事情の裡にある婦人中只比較的之れ等の境遇に對して持久力を有する婦人のみ生兒を生む事を得るからである。尙更に男性の體質が女性のそれに比して劣れる最も的確なる證據は、男性が女性に比して人間の原型からより多くかけ放れて居る事である。則はち變異の多き事である。先年此事に關して特別委員が出來て多年世界各人種に就いて調査をした事があつたが、身長に就いては女子間よりは男子間に於ける差の方が多大であつたのである。人間以外のものゝ有つて居る筋肉を有して居たものが比較的男子の方に多かつたのである。現に四十八人の男子及び三十八人の女子を調査したるに、下等動物の有する筋肉を有して居た男子は其內十九人あつて、女子には僅かに二人あつた計りである。又屢々手足の指の數の多かつたのも過半は男子であつたのである。是等の事實は確かに進化論の主張たる「男性に變異の事多く、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

而かも最も發達せざるものに多し」との原理の基礎となつて居る事實である。而かも最もをかしきは、ダーウキン氏が是等の事實を變異の例に引用せし際も、恐らくは之れは女子が男子よりも多く是等の不具を隱蔽するからであると云しが、調査委員の嚴重なる檢査の場合に、如何にして女子が其手足の指の數の多き事或は不自然の筋肉のある事を隱蔽する事が出來るであらうか。氏の如き正しき人にしても尙積年の固陋なる思想を脫却して男らしく女子の體質の優秀なる事を承認する事が出來なかつたのは笑ふに勝へたる事である。

エリザ、ギャンブル女史著「婦人の進化」によれば、米國の小學校の生徒中、色盲目の最も多きは男生徒であつた、女生徒には誠に稀れである。鐵道技師の內にも色盲目が屢々あつて、シグナルの色を識別し損じた事は度々あるのである。又觸覺の事にしてもワシントン中央政府の大藏省で贋札發見の爲めに特に女子を雇つてあるが、若し彼等なかりせば、到底此仕事は男子で出來ぬのである。幾多の銀行を易々と通過した贋札でも、一度是等の女子の手に移るや、少しあやしと見れば直に瞑目して指先で之れにさはつて見ると、直に之れを發見するのである。斯の如く視覺でも觸覺でも最も頭腦に密接してる感覺が女子に於て大に銳敏に働くは、適ま〳〵女子の頭腦の訓練すれば敢て男子のソレに比して遜色ない事を證するではないか。

是等の事實によつて見ても、男子の體質は寧ろ女子のソレに比して粗野である事が判かる。是等によつて見ても男子の體質が女子のソレに比して强健であるとは云へぬのである。成程、其筋肉の逞ましき事は爭はれぬ、而かも强健なる事と、持久力に富んで居る事は女子の方が優つて居るのである。然り、植物界、動物界、及び人類に於て女性は常に其種屬を其双肩に擔つて行かなければならぬ役目を有つて居る爲めに其役目に耐ゆる必要上特に天然自然から斯の如く優秀なる體質を賦與せられて居るのである。

是迄は重に體質の事を論じたが、精神力に至つては雌雄及び男女の比較はどうであるか。玆處にも亦た女

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

性の優秀なる事を認める事が出來るのである。第一に人類以外に於ては人類と異り雌性が其伴侶として雄性を撰ぶのである。而して撰ぶには撰擇力の存在を認めなければならぬ。生物界に於ては雄性は性慾最も強く常に侵略的で、如何なる雌性ともくつ付き易いのである。然るに雌性は常に受働的で、靜かに且つ徐ろに己の欲する雄性を鑑別撰擇するのである。而して其標準は最初は物質的である事は物の順序である。それに雄性の數が雌性の數に遙かに超えて居りしが爲め雄性間に互に競爭の起るは自然の勢である。從つて漸次雄性の體格が増大して來て遂ひには雌性と同等位になつたのである。而して雌性が雄性を撰ぶに當り其標準は前陳の如く物質的で先づ第一に體格の大なるものを撰び其間に出來た子が段々生長するに從つて更に大なる相手を撰び、かくして漸次其特質が増大して來たのである。而かも雄性が其種屬の幹、則はち自然的の原型であるとすれば、此の原型からかけ放れたる雄性の特質は不自然と稱する事も出來、而して其不自然的の特質を有する雄性が雌性を好み撰ぶ事によつて益々雄性の不自然性は増大して來たのである。且つ此特質則はち術語で第二次雌雄性と稱するものは雄兒が幼兒より年頃に生長する時に始めて顯はるゝものにして、而かも遺傳の第二原則によつて、かく特質の顯はるゝの遲きものは其始めに之れを有して居た雄性にのみ其特質が傳はるのである。

昆蟲の歌を歌ひ、魚鳥の美色を帶び、裝飾的の附加物を有するに至り、又美聲にて囀づる事、哺乳動物の體格、體力、勇氣、殺伐性を帶び、角や牙を有するに至りし事、雞の冠や獅の鬣等は何れも皆是等の雄性が雌性を得んため漸次生せしものに過ぎないのである。則はち自然は最初是等の特質を與へざりしも、是等は雌雄淘汰上、雄が雌の注意を惹き、其甘心を得、且つ同性中競爭の具となさん爲め後に至り獲得せし特質であつて、而かも少しにても從來より異つた特質を發揮する程夫程雌性の注意を惹き易きに見て、第二次雌雄性の數が益々増加し又愈々變異し來つた事は想像に難

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

くはないのである。而して人類及び動物界のみならず植物界に於ても雄性よりは雌性の多き爲め、所謂交尾期になれば地上は一種の修羅場と化し雄性間に非常の爭鬪起り來る爲め、終に角や蹄や、強き顋や、歯の付きたる嘴其他あらゆる武器の必要が起つたのである。

是等は雄性の生存の必要上出來たものでない事は、或物は生存に却て邪魔であり、或物は交尾期丈顯れて來て、其期が過ぐれば消えてしまひ、又幼少の時に生せずして只年頃になつて始めて生ずるによつても判かるのである。則はち雄性が雌性を得んとするに必要な丈である。故に鳥類の雄の如きは特に美麗の羽毛を雌の前で擴げて見せびらかし、種々妙な嬌態をつくるのである。

昆蟲間にて力を以つて爭鬪する事は稀であつて多くは嗅覺や歌で其目的を達するのである。甲殻類の前部の觸角は香を嗅ぐ爲めに用ゐられて居ると思はれて居るのである。則はちそれによつて雌の所在を探がすのである。蟋蟀、バッタ等の雌の靜かなるに比し大聲を發して其甘心を求め、而して雄の間では頻りに其聲で競爭するのである。蟋蟀の雄は穴の口に居て大聲を發し、其聲を聽いて雌が出で來るや、俄かに美聲に變じて其機嫌を取るのである。或蟲の如きは其羽根の表面は滑かなるも、其裏面は歯やトゲを有つて居て、それに肢を摩して種々なる美聲を生せしむるのである。然し昆蟲類も時々爭鬪しないのでもない。譬へば甲蟲の如きは屢々之れをなすのである。蝶類でも其雄が一匹の雌の爲めに互に競爭して其羽根を破る迄になるのである。

雄魚も頗る之れに似た事がある。或る鱒の養魚場では一匹の雌鱒の爲めに三百匹の雄鱒が爭鬪の結果死せし事があるさうである。雄魚は普通に雌魚よりも美色を帯びて居て、之れが交尾期になると更らに美はしくなるのである。又其期間は特に冠や、隆起物やが出來又顋が長くなるのである。又其時期には或る魚族の雄は恰かも孔雀が羽根を擴げる如く其鰭を擴げて、雌魚の廻はりを泳ぎ或は跳ね廻はつて頻りに其注意を惹く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事を努め、又或魚族では雄魚が砂を掘つて其處に巣をこしらへ雌魚のまはりを泳ぎ廻つて之れを種々の方法で右の巣に誘はんと謀り、若し他の雄魚でも其近傍に來ると、エライ勢を以て之れを擊退するのである。殊にマツコー鯨の如きは嫉妬心や爭鬪心に最も富んで居るのである。

鳥類も同じ狀態であるが、更に其趣が派手である。南洋あたりでは交尾期になると土人等は態々之れを見物に出掛けると云ふ位である。而して其時期に特更に種々の附加物が出來て、其時期が過ぐると又元の姿となり、聲も其時期になると特更美はしくなり、それが過ぐると又元に復するのである。

更に進んで哺乳動物、其他の高等なる動物に至つては雌雄淘汰が多くは體力の爭ひによつて決せらるゝのである。而して雄性を撰ぶの權は茲處にも不相變雌性であつて、其爲め雄性は漸次向上するのである。

茲處に特に云ふ可き事は、雄性なり男性は常に雌性なり女性又は子供を保護する役目を以つて居て、之れが雌性又は女性に優つて居る特徴であるかの如く言做されて居る事である。然るに實際は之れと正反對であつて、かゝる狀態はホンの稀れに見る事であつて、普通は雄性又は男性は何等雌性又は女性及び其子供等の面倒を見ないのである。ウカ〳〵して居ると雄性は雌性の生んだ子や卵を喰つて仕舞ふのである。況んや子供の世話などは一切しないで、他の雌性又は女性と優遊して居るのである。牛にしても犬にしても、羊にしても獅子にしても雞にしても皆何か其子に危害の加はらんとする場合、極力之れを保護するものは雌であつて、雄はソンナ時は忽ち逃げ去るか、敢て關せず焉と云ふ風をして居るのである。否獵師にでも雄が打たれた場合、極力之れを保護して力盡きて雄と共に其處に斃るゝも厭はざるは雌であつて、雄は雌が手負でもすれば、之れを顧みずしてサツサと其場を逃れるのである。

かく數限りなき事實によつて見ても、生物界に於ては女性が其中心又は幹であつて、男性は只其補助機關に過ぎない事が判るのである。(完)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

了然尼

島田筑波

一

音も靜かに降る春雨は、律院の苔を洗うて、をりから櫻の落花が、一入の風情を添へたのであつた、爰は京都今熊野泉涌寺の門前、頃は寛永年中、丁度德川三代將軍家光の時代でした、このあたりに浮世をよそにながく茶道に心をよせ、風流な數奇屋を作り、古畫の目利に長けたる、畫見の長次と渾名されました、商人がございました。

近所の人々は、いづれもこの畫見の長次を、いづこのいかなる人であると申す事は、誰れ一人知るものがなくつて、唯だ畫見の長次〳〵とばかり申して居られましたが、その實この畫見の長次と申すものゝ、素生をしらべてみますと、世界隨一の名山として我々がつねに誇りといたして居ります、彼の擂鉢をさかさに伏せたやうな、または白扇倒まに懸ると唄はれました、駿河なる富士山の大宮司に葛山何某と申すもの、甲斐國の名將武田信玄の一子をひそかに養ひまして、葛山十郎義久と名乘せました、この十郎義久の一子に長次郎と申すものがございまして、早く世を逃れ京都の地に來り、泉涌寺門前に閑居いたされましものが、即ちこの畫見の長次なのでございます。了然尼はこの畫見の長次を父として正保三年東山の新綠將に滴らんとする四月中旬呱々の聲を洛東の地にあげられましたのでございます。

二

這へば立て、立てば步行めの親心で、蝶よ花よと長

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

次夫婦のものが、手鹽にかけて可愛がり育て上げました了然尼は、いつか二八の歳を迎へて、その美貌と才情とは、多くの若い人達のこゝろを動かすほどになりました。

されば夫婦のものはより〳〵好い婿をば迎へたいものと、その事にばかりあけくれ心を痛めて居られますと、その頃京都に名高い藤江幸庵と申す醫者が居られまして、その人の許に伊勢の桑名から來て、修業いたして居られました。松田晩翠と申す青年が、夫婦のものゝ目にとまり、それをば婿と定めました、かくて了然尼と晩翠とは目出度華燭の典を擧げることになりまして琴瑟相和しいつか二人の間には幾人かの子まで設けられましたが、了然尼は若いときから東福門院の御孫好姫君に宮仕へをいたして居りました處、丁度了然尼が二十七歳の寛文十二年に好姫君は御薨御遊ばされましたので、痛く浮世の無常を悟られ、すぐ寳鏡寺宮の御弟子になられ、緑の黑髪を惜氣もなくクル〳〵と剃りこぼちて、夫の晩翠とも離別いたされ、墨染の麻の衣を身に纏うて、關東に下られ江戸鐵砲洲にさゝやかな庵を結ばれましたのは、四代將軍綱吉の延寶年中のことでございました。

三

時に本所向島須崎町の牛頭山弘福寺に黄檗の名僧鐵牛和尚が住んで居られましたので、了然尼は或日鐵牛和尚を弘福寺の禪堂に訪づれまして、細々と御弟子にねがひたい由を申述べられますと、鐵牛和尚嚴かに彼女の美貌を嫌はれて斷られて仕舞ました。

そこで了然尼は止を得ず本郷駒込の大休庵に住んでをられました、木庵和尚の御弟子で白翁禪師と申すに縋つて入門をたのまれましたが、これまた了然尼の美貌を厭はれゆるされませんでした。流石の了然尼も今は力なく〳〵町家の方にあゆみを轉じ、道々いろ〳〵と考へながらあるいて居りますうちに、ふと思ひ出したのは昔し曹洞宗の慧春尼も、丁度我が身と同じやうに容貌の美を疎せられ、出家は大丈夫の事ぢやと、兄の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

了庵慧明から斷らゝました時に、火鉢に赤くなつてゐた火箸を取つて、其美顔を燒かれた事がまざ〳〵と胸に浮びましたので、傍を見廻はしますと、そこに一軒の穢い鍛冶屋がありまして、今しもなにかしきりにプウプウ鞴を使つて、銅器を火の中に入れて赤く燒て居りますので、了然尼は

「御免ください」

と、その家の中に這入られ、しばらく物案する體に鍛冶屋の仕事を見て居られましたが、いきなりその赤く燒け爛れて居ります銅器を、自分の額から顔へおしあてましたので、忽ち皮面は焦き爛れてみるかげもない姿と變りましたので、すぐさま筆をとつて、

昔遊二宮裏一燒二蘭麝一。今入二禪林一燎二面皮一
四序流行亦如レ此。不レ知誰 是箇中移

と申す七絶の詩と、

生る世を捨て燒く身のなからましつひに薪と思はざりせば。と申す三十一文字の和歌とを認め再び白翁の許に參られ、入門の事を願はれましたので、遂ひに白翁も心動いて、了然尼をば御弟子といたされました。

四

それから了然尼は毎日江戸の市中を勸化してあるいて居られましたが、なにしろその當時は慣習に支配せられました封建時代の事ですから、すべてが儒教の「身體髮膚これを父母にうく敢て毀傷せざるを以て孝の始とす」と申す軌道を離れませんで、了然尼が美しい容貌を傷けました行爲をば奇を好むやうに誤解いたされあざけり罵るものが續々と出で參りまして、彼の元祿の鴻儒として知られました室鳩巣先生の如き迄が、同じやうにこの了然尼の行爲を難じ、當時讃岐丸龜の城主京極侯に仕へられた、女詩人井上通女の貞淑とくらべられてこの人の行爲は遥かに了然尼に增ると申して居られます、かやうな次第で了然尼も江戸をば住わびまして、しばらく鎌倉のさる所に、住み家をもとめそこに移らんと旅の仕度などいたして居られました。

五

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

處へ這入つて參られましたのは、戸田茂睡と申しまする歌人でございます、この人は本多侯に仕へて高三百石の食祿をうけました武士でしたが、延寶の末に仕へを辭して淺草金龍山の麓に住居いたし、

塵の世と思ふ心の積りては身の隱れ家の山となりけり、と申す一首の歌を詠じまして隱遁の志を述べられました處から、人呼んで隱れ家の茂睡と申された人でございます、またこの人の詠まれました

熊にあらす虎にもあらず淺草におき臥すわれを誰か知るべき

と申す一首によつて見ましても、世のつねの隱遁者ではありませんでした、かやうに奇を好む人でしたから了然尼の江戸を旅立つと聞きましては、心から同情に堪へなかつたものでございませう。

「今度は鎌倉の方に參られますさうですが……」

と懷中から一枚の短册をとり出しまして、それを了然尼に送られました。

了然尼はそれを丁寧に押戴き

「これは〳〵」

と手にとつて讀み下してみますと、

水莖の清き心のことしげき里をばよそにすまゐもとめて

と申す歌が認められてございました。

了然尼はしばらくぢつと短册に目を注いで居られましたが、やがて硯を引よせられ

みな人のさらぬわかれのそれならでありてへたる世をぞ恨らむる

と申す返歌をばいたされました、さていよ〳〵江戸を立つ日の事、かねて認めて置かれました一つの卷物を茂睡のもとに送られた、それにはその頃江戸に名高き人々の歌が一首づつ撰まれてございました、後に茂睡はこれを出版いたしまして「若紫」と名づけられました。

六

かくて了然尼の名前はやうやくそこ〳〵に傳へられ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

年賀名刺交換

（イロハ順）

四谷區坂八十
伊藤朝子

本郷區本郷四丁目五十三
井上すみ子

本郷區本郷四丁目五十二
岩崎愛子

本郷區駒込林町二〇六
西川文

本郷森川町五十三
尾崎恒子

京橋區木挽町六加藤病院
加藤崎子

北海道北見國幌内新生園
吉川たみ子

芝區佐久間町壹丁目一
多川澄子

神田三河町九
田口隆子

巣鴨二ノ二十五
高木富代

芝區芝公園十四ノ十四
高橋達子

深川區富川町
高野むら子

芝區源助町二七
並木さき

芝區芝公園十五ノ十一
小口みち子

小石川區茗荷谷一〇二
山口孝子

牛込本村町十四
山盛美喜

靑山北町一ノ十八
山田清子

四ッ谷愛住町
玉露女史

赤坂田町七丁目壹番地
平澤福子

赤坂仲ノ町一
樋口綠子

府下田端八百
日向きむ子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産科婦人科小兒科

女醫 鷲山改め 吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後

醫員診察 午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

小兒五疳驚風

本方 奇應丸

京橋 ぎんざ 三丁目 松澤商店

新年の御慶目出度申納候

[illegible]さへの 妙藥

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

勞働及產業

一冊金十二錢 半年分七十錢 ‖ 新年號 ‖ 一年分一圓卅錢（すべて前金）

■勞働指導者の教育……法學士 友愛會長 鈴木文治

■資本と勞力との調和……法學博士 友愛會評議員 添田壽一

■金言の訂正……神田銀行頭取 神田佐一郎

■世界の大亂と國民の覺悟 法學博士 友愛會評議員 堀江歸一

□友愛式漏斗の發明 大野寺英二郎

□勞働者の權利教育 渡邊貴知郎

□諒闇の新年……鈴木文治

□最近勞働界記錄……坂本正雄

□自由法律問答……柳田國之助

□工業衛生論……大倉林平

□戰亂夜話 □常識學問

□懸賞文の發表及募集

□勞働訓……本誌記者

□パナマ運河 □クルプ會社

■日本將來の職工組合……法學博士 友愛會評議員 桑田熊藏

■工場勞働要義……技師 神田孝一

■地方青年の上京と求職……東京市芝職業紹介所 栃尾賴吉

■勞働組合とは如何なるものぞ……早稻田大學教授 安部磯雄

振替東京 三一五七 ‖ 發行所 東京市芝區三田四國町 友愛會本部

皆様薬はホシに限ります

大正四年の改歴と共にホシの薬は一層の努力を以て理想的良劑の眞價を發揮し皆様の御愛用に酬いたいと存じます

ホシ婦人座薬
定價（三個入二十錢、九個入五十錢／二十個入一圓）
子宮の痛み、膣カタル、痳毒性子宮病、月經時の疼痛

ホシ血の道藥
定價（小包二貼入十錢、箱入四貼三十五錢、同七貼六十錢）
月經、子宮病、ヒステリー其の他婦人病の良藥

ホシチオール
家價（小十錢、中廿錢、大五十錢、特大一圓）
火傷、切傷其代皮膚病特効藥

ホシ齒液
定價 一瓶 一錢
齒が痛む時つければケロリと直ぐなほる

ホシ胃腸藥
定價美鑵入十錢、二十錢、五十錢、一圓
胃腸病一切、消化不良、極めて美麗の鑵入散藥

其他製劑卌有余種全國到る所の特約店にあり

ホシ小兒專用藥

蟲藥（むしぐすり）
風藥（かぜぐすり）
咳痰藥（せきとめぐすり）
胃腸藥（ちやうぐすり）
下劑（くだしぐすり）
下痢止（げりどめ）

良藥甘く子供に適す
各ゝ美鑵入十錢
六種箱入六十錢

並に家庭常備品

△**モルトフード** 小兒母乳の代用にもなり重病者の恢復期に特効ある滋養劑（一鑵六十錢）
△**オメガ** 臭氣止め毒蟲劑で藥用石鹼の代用ともなる（一打廿五錢）
△**星化粧石鹼** 美人となる理想品です（一個十五錢、三個箱入四十五錢）
△**星浮石鹼** 定價十二錢
△**星齒磨** 衛生純白佳香の粉末定價一袋二錢 大五錢

資本金百萬圓

星製藥株式會社

東京市京橋區南傳馬町三丁目

電話京橋（特）一七一五、二一〇二、二一三一番（振替東京二〇五二二）

その德に服して參りますものが追々に加はり、再び江戸に歸られました時に、府下中野村落合ひ蓮乘寺と申す御寺がございまして、そこに五間四面の觀音堂がございました。それを村の名主の伊左衞門と申す者が、了然尼の德に歸依して、元祿六年癸酉二月に寄附いたされました。

了然尼はすでに髮を剃りこぼちました延寶の初より、一寺建立の祈願がございまして、つねに志を遂げましたせつには必ず師匠の白翁を以て、開山にねがはうとあらかじめ話が纏つて居りましたので、白翁もそのこゝろざしをめでられ、木庵和尙に泰雲寺といふ額を書いて貰つて掛られました。かやうのわけでしたので、元祿十四年辛巳七月に蓮乘寺を改めて、泰雲寺と稱され、山號を黃龍と撰ばれました、然しこの時はすでに和尙の白翁は遷化せられて居りましたのですが、生前の約束によつて勸請開山と定めて、其の木像を安置し遺骨を寺中にをさめられました。

それから十一年目の正德元年辛卯九月十八日に了然尼は筆をとつて、

六十六年秋已久、凜々月色向人明
莫言那裏工夫事、耳畔松杉風外聲

と申す偈を殘し眠るが如く示寂いたされました。又了然尼と晩翠との間に生れました子供のうちで、兄の長次郎は後に紀州侯に召出され儒者として知られ、また妹桃仙は漢詩に長じまして、「桃仙遺稿」の詩集が今に世に傳へられて居ります。(十二月九日)

宿の娘

中里介山

この間東海道筋のある宿屋へとまゐりました、見すぼらしい一人旅の小生を拒絶しなかつたのを恩惠に感ずる位で、此の宿屋の人達が特別に小生の入來を注目してくれなかつたのに、何の不思議もないのですが、小

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生の方には少しばかりの思出が殘つて居たのでした。
十年ほど前、一度この宿屋へ泊つた事があつたのです、その時、この宿屋には、二人の娘さんがあつた、その妹の方が僕の友人で、今歐羅巴に居るKといふ男と想思の仲であつた。

で、其のKが、僕を引ぱつて、其の娘の面を見せるといふて、つれて來て、此處へ泊らせたものです、拜見を仰せつかつた其の娘といふのは當時十九位でもあつたらうか、血色も肉づきもよくて、稼業柄ですから肌合も少し俠なところがあつて、肉を煮たり何かして僕等をもてなして呉れる樣子が中々親切でした、その中に娘の兄で當時大學に居た男も來て、大分話しもはづんだわけでした、僕はトルストイ崇拜の大熱の時代に居た頃でしたから、肉も食はず、酒も飲まず、早く寢てしまひました。

因緣は、たゞこれだけです、其の後、Kは歐羅巴へ行つてしまつた、僕は相變らず、燻ぶつて居る中に、ふと、足が向いて、この宿へ來て見れば、彼是十年經つといふわけです。

その娘さんの面さへ殆んど忘れて居たので、愛嬌のよい一人の女中をつかまへて、これが其の人でないかと、それとなく尋ねて見ると大違ひ、それは近所から雇はれて來たもので、昔し見た娘さんは四五年も前に東京へ片づいて、子供が二人もあるとの事です、無論姉であつた方の娘さんも、此家に居る筈がないのです。

成程、さう云はれゝば、當時十九であつた人は三十にもならねばならぬ、今、私が、十八九の年頃の女中をつかまへて、其の人ではないかと疑つて見たのは、餘りと言へば迂濶でした。

Kと其の娘さんとの中は、餘程深かつたやうです、いや、ドの程度まで深かつたか、丸きり關係がなかつたか其の邊は僕には推想が出來ないが、Kは容易に歸りません、Kの方でも其の女の事は諦らめて居やうし女の人も他家へ嫁ついで行くのが至當です。

併し、これだけの因緣をもつて、その晩淋しく、宿屋の軒に折柄降り出した小雨を聽きながら一人寐の夢を結び兼ねた、僕にとつては、多少の感があつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

春から夏へ

みをつくし

汝のいだく其の玉をすてよとは、
汝の命をすてよと云ふか。

此の地が裂け此の天がおつるとも、
なにかは此の玉捨つべきや我れ。

君來泣け君苦しめよ君戀れ、
君し笑はば我が歌成らむ。

菜種を見れば阪神電車の小窓より、
甲山の松走りて見えき。

菜種の花黄色に咲ける春の田に、
妹と蜜蜂の羽音聞き居し。

初夏の空初夏の風新綠に、
はしき新づまをほしと思ひぬ。

さらでだに初夏の娘は美しきを、
柔き桃色のネルにはにかむ。

山に行き海にゆくとも此の惱み、
萠えがてに早や夏の色見ゆ。

春深く氷雨降りたり信濃路に、
椿の花赤く姉は獨り病めり。

山吹は黄色く雨にぬれ居たり、
この日姉上血をはくと悲し。

五月の雨に飛鳥山の青見えわかず、
都にそむき我心靜かなり。

乙女椿雨にしとどぬれ居たり、
其赤き色に春ゆく春ゆく。

飛鳥山の楓の青はやはらかし、
五月の雨にぬれたればなほ。

北國にゆく汽車の笛は悲しかり、
肺やみておはす姉がりゆけば。

五月の雨降るあした北にゆく、
汽車の窓はも青に映えたる。

我が汽車の林の中を走る時、
「子とろ子取ろ」と樹のかけまはる。

坂上の娘の姿愛らしも、
キスしたしあの娘は肌のよき娘よ。

人形の足とれたりと泣きし君、
あゝ今我の物ならなくに。

かなし曾て雛さまを抱きキスせし、
君の次第に遠ざかりゆく。

濱寺の庭に蓮華の赤かりき、
眼とづれば赤き玉飛びまはる。

身の置き場なき迄に苦し君戀し、
君戀し更に君のにくけき。

（古きノートより）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

冬ごもり（一）

吉川たみ子

名にしあふ北海の深雪、降り初めたかと思ふまに、積り〳〵て滿天滿地山も川も田も畑も家も林も千里一白雪の衣に包まれてしまひましたこれが根柢雪（ねゆき）となつて年内には三尺も四尺も積つて橇で往來するやうになります。

低い人家は雪中に埋もれてしまひますから屋根に穴をあけ出入口を造つて人はこゝから出入りします。

十二月の中旬から三月の末迄の深雪の間が此地の人々の大活動時期で何れの山も大は數百人小は數十人の人夫が這入つて木材を採伐し搬出して盛んに働いて居ります、勞働者の服裝は赤毛布づくめで着物も股引、脚絆も足袋も皆赤毛布を用ゐます、これがキヤリを歌うて雪中に働いて居るさまを遠方から眺めると恰も時ならぬ紅白の花の盛りを見るやうな壯觀を呈します勞働賃金は一日に馬を連れて三圓四圓腕のよわき者は一圓か二圓位で一期間に相應の金儲けをしますが大ていは酒代になつてしまつて年中あはれな生活をして居る人が多數なのは實に遺憾な事です、こんな國家に有力なる勞働者にして、かくも品性の下劣なのは眞に惜しい事だと思ひます、勇氣ある教育家、宗教家の來つて此等人人のために献身的に働かれんことを望みます。

海も春陽氷の解けるまでは閉されてしまひますから交通の不便は之より魚類を得ることが出來ませんので餘裕ある人は米を始め必要品を買ひ魚類も買込んで鹽漬け或は乾燥して貯藏して置きます内地の人々が菜、大根の漬け物をすると同じやうな工合です、私も鮭とチカとを樽に漬けました、鮭は四斗樽一本二圓位です又鮫一尾を買つて料理しましたが鹽漬の肉が四斗樽一本と鮫ぶし（鮫肉を蒸して乾燥して鰹節の如くしたもの）八十五本と油五升とが取れました、鮫は一尾五六圓です野菜も溫室に貯藏して越年の用意をしました。

農家冬期中男は山働きに出たり炭燒きをしたり女は思ひ〳〵に裁縫などをして居ります、商人は此間が得意の時で船の通行止り物品の輸入なきを幸、仕込んだる品物を思ふまゝの利を占めて賣りますから物價の高きこと東京の三割四割です、山が賑はしいので商人も主に山で商買をしますから町は火の消えたやうな寂寥です。

海にも陸にも天產物豐富な上に人口も少く生活の程度も低いものですから内地のやうに生活難の聲は高くありません、寒氣も嚴しいには相違ありませんが山に住居する人は薪炭が價無しで終日終夜ストーブをどん〳〵燃いて暖を取りますからさほど凌ぎ難くもございません此點だけは内地の富豪の生活に似て居ります、私方でも炭釜を築いて自家用の炭を燒きますが、一釜に十五俵づつ月には四回は燒けますから五六十俵の炭が出來てつかひきれませんから賣却して居ります、來年は副業に小規模の漁業もして見たいと思ふて居ります。

新らしき新年をむかふ

重複な言葉ですが私のためには眞に新しき新年です、土地住居を始めとして事業及生活の狀

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

態交る周圍の人々まで悉皆新しくなつた、新年をむかふるのですから

此好機を逸せず内的にも外的にも大革新を期して居ります、小事ですが正月の儀式の如きも從來の無意味の形式や虚儀虚禮に屬する事柄は一切打破して趣味あり意義ある正月式を立てゝ實行しやうと其考案に就つて居ります、こんな新らしい土地では周圍から何の拘束もうけませんから、自由自在になんでも出來て有難いのです人は來らんとする新年を待つ暫時の間ほど希望に充ち理想に富んだものはありませんれ、それがいよ〳〵實際の場合になると(人世蹉跎多し)で豫期した事は端から〳〵外づれて遂には(ああ今年もまた)との歎聲を發するやうになつてしまひます、よつて私は實際の新年より新年をむかふる時の今の心もち氣分を永久につゞけて居たい思ひます。

白髮と皺を無くする法

記者

▲讀賣の婦人附錄に、木内愛子氏の談として「顏の衛生としては、極僅かのブランデーを指の先きにつけ、しつかりと毛の地を擦るのです。かうすると頭に血行がよくなると共に、髮の毛も惡い毛は拔け、新しいのが生えて美しくなります。若くて白髮の多いのも、髮の毛の營養がよくないのですから、この方法で自然に癒すことが出來ます。」

と云ふことが書いてあつた。

又米人ベンネットと云ふ人の「早老豫防法」の中に、

仰臥したまゝ、首から先きを枕の外へ、のり出し、充分頭を下げたり、又上げたりする。此の運動を一日に一度五六同位づつから始めて、二十五同位までに增し、毎日して居ると、首の筋肉と頰の筋肉とを發達せしむることが出來て年か老ひても首に皺なく、頰の肉を落さない樣にすることが出來る。首に皺なく、頰の肉が落ちれば、何時までも若く見える云々、

と書いてある。

▲ベンネットは、佛國の一美人が、毎日鏡臺に面する度に、頭を出來る丈け後ろに下げ又反對に前へ下げたりして居た所、面に何時までも皺が見えず、頰の肉も落ちぬので、何時までも若若しく見えたとの事から、思付いて此の運動方法を考案し、ベンネット自身も實際其の身で實驗して見て効果のあることを知つた方法である。

▲皆樣に、此運動方法の實行をおすゝめします。

落葉集

平澤福

私は母が病氣なので久振で歸鄉しました、それは十一月六日空は晴れて寒い風が身邊に遠慮なく觸るゝ日であつた。

水戸線結城驛に下車、それより南の長い長い田圃を車にゆられながら故鄉の野、山、川に接した時、オゝなつかしの故鄉よ鎭守の森よと思はず叫び、ありし昔が戀しかつた。

家に着くと病床の母は私をほゝゑみながら迎へてくれた、嬉しいやら悲しいやら萬感交々

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

であつた、この夜はつまらぬ雑談に更けた。いたく衰へた母の病體をつく〴〵見て私は只悲しい涙が溢れるばかりであつた、然しその後母の病氣も次第に快くなつたので、今迄暗雲にとざされてあつた胸もいくらか薄らいだ。五六日經た、ある日椽をはなれる落葉の折々軒端を音づるのゝ外は、いたつても靜な夕暮、垣根の傍の山茶花が散り行くのを見つめながら、ある一種の氣分に囚はれた。

靜かで淋びしい古寺のやうな家の中に、終日居るのでなんだか急に外が戀しうなつたので、獨り木陰の下を逍遙した、けれど私の心は決して空虚ではなかつた、一陣の寒い風は枯れ葉を拂うて私の肩に散りかゝつた時。折柄妹はせよりて「姉さん橋の方へ行つて見ませう」この言葉に促されて、草ふかき道をふみわけて、靜夜の橋畔を訪へば、やがてかけた月影はすんだ空の山の端にあらはれた、彼方には墨畫のやうな鮮かな筑波山、森の陰、この様な捨難き田舎の風情に酔うてしまつた、二人は人なきを幸ひに思ふ存分歌ふ笑ふ途には都の話を長く續けた。

をさない時の私はこの川に水泳をしたり、小舟を浮べてのつたりなどしたお轉婆であつた、其の時代がなつかしい、何もかも知らぬ昔が戀しい、さうして現在の自分が可哀想になつた。

想ひはそれからそれへと轉じて、この頃の世の不景氣がこんな平和な孤村にも侵入して荒んだ叫びと共に、村民固有の質朴な、氣分や平和な思想を打破して行くのを悲しまずには居られなかつた、農村發展策の必要を切實に感じた。

晴れたある朝、冬らしい光線が家一杯に當り初めた、障子に寫る椿の小枝にとまつた小鳥の可愛いげさは、華山の畫にでもありさうである。都のあるものは私の全神經全精神を緊張させてゐる、遠ざかれば遠ざかる程强くなつてくる……が又外には流れる水の音、鳥の聲、美しい自然の詩を聞きて偉大な自然に抱愛されるのも嬉しい。

日も西山にかたむいて、庭の木々野山の木々の椿にわづかに殘る黄葉が夕風に二ヒラ三ヒラ散るを見、折りしも響く夕暮の鐘を聞きて

「今日も暮れぬ、君いかにおはさん、我が心悲し、都の人皆なつかし、わけて君戀し、ああ笑ひも憂きも君と共ならでは」

停車場附近にある叔母の家に行つたら嬉しくつてあいさつも半で眼には涙が一杯。いつもながらの情愛に充てる温き家庭に、抱圍された。從妹の初めてお母さんになつた美しい立派なお母さん振りを尊敬せずにはゐられなかつた。二十日再び都の我が巣に歸つた、この夜は母の病氣再發をおそれて一睡もせずに明した。眠られないので、病的に神經は働くア、こんな根柢のない生活から一日も早く脱け出したい、新しい年と共に意義ある内容の充實した新しい生涯に入りたい、モー本年もわづか。早く私は春風に觸れたい。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

マーキノ・ヨシオ君の婦人同盟訪問記

中尾清太郎

パンカースト母子の活動振

ヨネ野口君と共に、本國に於てよりは海外に知られたマーキノ・ヨシオ(牧野義雄)君の『倫敦に於ける一日本畫家』が出た時は、丁度ヨネ君の『東海より』が出た時と同じく、英米の人は東洋人に對する一種の興味と怪異とから可なりに評判した。尤も、それとこれとは散文と韻文との違ひがあるばかりでなく、吾々日本人から觀れば、兩君の性格天才長所の違ひも能く見え判つたのであつた。ヨネ君は Childish な、あどけない想像を持つた詩人であり、マーキノ君は其繪のやうな小器用な筆を描寫に運ばすのに勝れてゐた。だけれども、兩君共に何處やら感傷的で、そして日本にゐる日本人よりも固有に日本人らしい所が相一致した點であつた。私は今茲にマーキノ君の『マイ・アイデアルド・ジョンブレセス』から、クリスタベル・パンカースト孃の『婦人の社會的政治的同盟』の本部を訪うた一章を紹介してみる。之を紹介する譯は、去年九月クリスタベル孃が倫敦で、戰爭の爲めの愛國的運動を始めたと云ふ電報の日本へ入つた時、多くの內地新聞は孃を、孃の母と取り違へたことを、私が新眞婦人の十月號に書いた緣に因んで、之を書かなければ氣が濟まなくなつたのである。また今、最近の米國だよりに據ると、孃は目下米國各都市を巡遊して、盛んに主義の爲めの運動をしてゐると傳へられるので、私の氣も一層唆られたのでもある。

WSPUへ初めての訪問(マーキノ・ヨシオ)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

丁度僕が『英國評論』の爲めに、女權論者の一文を書いてゐた時の事、同じ雜誌の編輯の一人が、僕に或るスケッチを作らせる爲めにＷＳＰＵ（婦人の社會的政治的同盟）を視察する周旋をして呉れた。訪問の刻限は木曜日の朝午前十時三十分と云ふ定めであつた。彼と僕とは全く時間通りに、クレメント館の第四番を敲いた。門には一臺の自動車が置いてあつた。それには紫と白と綠との一本の旗が樹ててあつた。一人の女運轉手が忙しく把手を廻してゐた。二度三度、さうすると機械がボーボーと運轉し出した。さあ出掛けるんだ。彼女はひらりと車に乘つて、舵輪を掴んだ。
『どうぞ、ちよつと暫く。あなたをスケッチしたいんですが？』
僕が斯う云ふと、彼女は愛相よく答へた。
『宜うござんす。』
　彼女は厚い自動車服を着て、庇のある帽子を冠つて、長い靴を穿いてゐた。其樣子は寧ろ滑稽に見えたかと云ふに、どうして、却つて大變いい恰好になつて見えた。僕はそれを考へずにゐられなかつた。僕は幾度も彼女をながめてみた。（幸な事に、僕は畫家だつた。だから貴婦人を見てためつすがめつする特權を持つてゐた。）それで譯は判かつた。卽ち彼女は其樣な着附をするに、うまく嵌まつてゐたのであつた。
　其館の踏段は數が多いので、事務所まで行くのに、隨分暇がかかつた。僕がその踏段を靜に上つて行く間にも、僕の頭は全くあの衣裳と云ふことに占領されてゐた。
　此時、僕の心に浮んだものを書いてみたい。
　老人の女が若く見えるやうに裝ふ時に、ほんたうの齡より老けて見えることがある。小柄の女が丈高く見えるやうにとして着物着る時に、實際より脊の低く見えることがあるものだ。あの不釣合な踵の高い靴が、小柄な女をどんなに不恰好に小さくして見せるかを見給へ。僕は毎度女中が黑と白との常服を著て、さつぱりとした態でゐることを見る。然も彼等が貴婦人のやうに裝はうとした時に、どんなに見苦しくなることで

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あらう。僕は常に思ふ、女に取つての衣服は、丁度人間の魂に對する宗敎のやうなものであると。諸君は、眞面目な信仰から、諸君の神を崇拜しなければならない。諸君は諸君の隣人の宗敎を眞似てはならない。衣服が其通りである。たとひ贅澤な、金のかかつた衣服が出來ればとて、若し諸君がそれを著て、ゆつくり落ち著いてゐられなければ、恰好よく見えることは望まれない。それに反して、若し諸君が著た衣服に能く魂と心とを落ち著けるなら、諸君はすつかり好く見えるに違ひない。たとひ諸君の衣服が最も並外れのものであつても。

僕の頭は、こんな衣裳哲學を考へてゐたので、同行と一所に事務所に入るまで、全くぼんやりでゐた。

クリスタベル・バンカースト孃が出て來た。そして

『さあ、すつかり部室をお見せ申しましやう。』

と言つた。僕は斯う言はれて、はつと氣が附いたのであつた。

『御存じの通り、此處では、何事も女がしてゐるのでございます。』

と彼女は言つた。成る程、さうであつた。僕は先づ入口に在る大きな電話交換臺に興味を惹かれた。それには二人のうら若い婦人が休みなく係かつてゐた。僕等はどんなに多くの部室を通つたか、僕は忘れてしまつた。どの部室も、どの部室も、多數の婦人が書き物をしたり、タイプを取つたり、新聞の切拔を蒐めたりしてゐるのを見た。僕は各室に『どうぞ此部室ではお靜に願ひます』と云ふ掲示のあるのを見た。だから僕は斯う云ふ部室で、何事か彼等から話し掛けられても、『イエス』の代りに、ただ頭でうなづく丈で濟ました。

僕が最も興味を唆られたのは、恐らく『地圖室』であつたらう。其處には、大英國のでつかい地圖が板に懸けてあつた。二三の婦人が立ち寄つて彼等の侵撃して成功したらしく見える所に、銘々の色を刺してゐた。何と云ふ興味のある事だらう。僕は元來小さい子供の時分から、ひどく地圖が好きだつた。地圖を見てゐて、飽くと云ふやうなことは曾てなかつた。そして

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其地圖の上に、いろんな想像を走らせた。――どんなに澤山の町や村が出來たらう。どんなに鐵道が敷かれたらう。どんなに川が山と野との間を流れ去つたらう。そしてどんな具合に旅して廻つたらう。

それで、若し僕が娘の子だつたら、僕はパンカースト孃に、其爲事をさして呉れと賴んだらう。そして確に其日々の働きを幸福に思ふことであらう。

それから僕等はさうした部室とは全く違つた他の部室へ連れられて行つた。多勢の婦人は、澤山の旗を意匠したり、縫つたりしてゐた。此處で彼等は僕に問ひ掛けたり、どうして旗を持ち扱ふかと云ふやうなことを示して呉れた。僕は最も美術的に出來た意匠のものを一つスケッチした。ダンロップ孃は僕の側へ來て、

『あたしはそれを大變自慢でゐるのよ。なせつて、あたしが、自分でそれを意匠したんですもの。』

と言つた。それから彼女は、自分の監獄生活――特にあの滑稽な賄泣かせの事に就て、詳しく話した、

次の部室は『ヲーツ・フオア・ウーメン』の『記者室』であつた。其處で僕はペシック・ローレンス夫人に會つた。彼女はペンを手にして、極めて忙しさうに見えた。しかし僕に挨拶する丈の親切はあつた。それで僕等は暫くの間、ほんとに愉快なお饒舌をした。

彼等は記者室に隣つた『會計室』へ、僕等を導いて呉れた。僕は大きな机が手形や貨幣で一杯になつてゐるのを見た。パンカースト孃は笑みを含んで、僕に言つた。

『これがあたし達の一番大切な部室です。』

全く其通り、彼女の言ふ通り。

以前、僕は金錢の事に就て、甚だつまらない考を持つてゐた。それはさう云ふ具合に育てられて來たのだ。僕の兩親は、僕の少年時代に、僕が金錢の事に就て知るのを許さなかつた。僕が倫敦へ來た時、僕は英國婦人と結婚してる一人の日本商人を訪ねた。彼は四歳に成る一人の子供を持つてゐた。この子供が、應接室の装飾にしてある海貝の殼を執り上げて、

『僕、之を三磅には賣りたくないんだ。』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と言つた。彼の祖母は大變な自慢であつた。

『この可愛い兒の言ふ事をお聽きなさいよ。まだ、たつた四歳なんです。それで、もう商賣氣があるんですよ。』

僕は、僕の昔の家庭生活とは全然違つた此やり方にひどく驚かされた。それから僕が羅馬にゐた時、同じホテルに一人の米國娘の旅行家がゐた。食卓に著いた時、誰かが彼女に向つて、あなたは御本國以外の何處かの國語が話せますかと問ひ掛けた。すると此美しい若い米國娘は、

『さあ、御存じの通り、あたし達は米國でたつた一つの國語しか持つてゐませんが、けれども此世界の有らゆる金を持つて居ります。』

と答へた。

明かに、僕は彼女にひどくぶたれたのだ。僕はどうしても、さう金の事に夢中になることが出來なかつた。何故と云ふに、此世界には金の外にまだ多くの重大な、他の事があるではないか。

しかし其後間もなく、僕は金が總ての重大事件――特に吾々銘々の自由を行ふに、最も大切なものであることを感ずるに至つた。實は、僕は僕の貧乏の爲めに自分の自由を失ひつつあることを深く悟るやうになつた。出版者は屢ば法外に廉い段取で、僕の書物を出版する。僕の創作の畫は、そりや拙からうが、世間は三倍の惡さの程度にそれを見るのだ。僕は僕の貧乏を慨いた。たゞ、若し僕が毎日の生活に足る丈の金を持つたなら、僕はそんな爲方で出版することを許さないであらう。そして僕の書物は世間の前に誤まつて紹介されるやうなことはなからう。

今、僕はこゝに女權論者達が、斯うしてうまくやつてゐるのを見ると、心から彼等を慶賀する。何故なら、彼等は全く餘計な困難を切り去つて、彼等の自由を行ふことが出來るからである。

今、僕は彼等の金庫のある部屋に在つて、座ろに三四日以前の『ヲルバート會堂』に於ける彼等の大會の模樣を思ひ出さずにはゐられない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其大會に入る爲めに、僕は一枚の切符を貰つた。そして僕はきちつと八時に其處へ往つた。全會堂は、もうぎつしりと詰つてゐた。白い衣服に、色のリボンを着けた幹事連は、なか〳〵行き屆いて見えた。僕は行き屆いたと言ふ。何故と云ふに、彼等は驚く可き程規律の立つた働きをしたから。僕はバルコニーに於て、有らゆる地方の町の名を見て。僕は全大英國に亘る或る數の代表者が、其處に出席したものと思つた。

　パンカースト夫人はいつもの通り、議長の椅子に著いた。そして演說者は、ローレンス夫人クリスタベル・パンカースト孃、及びオーストラリアのニールドスタイン孃であつた。みんなの演說者は雷の霆のやうな喝采を受けた。恐らく其演說は、僕が他の何處で聽いた演說よりも、よく合點したものであつたらう。其譯は、彼等が隅々まで聽えるやうに、一語々々をはつきりと、そしてスローリイに話したからだ。(但し僕の此語は間違つてゐるかも知れない。會堂は楕圓形に延びて、實際に隅と云ふものがなかつたから。)

　そして僕は、一種特別な反響の現象を認めた。僕は演說者に極近かつたからして、各語の明晰な反響が僅に二三秒で反對の方向から聞えて來るのを聽いた。それは僕の不確な英語の知識に取つて。いゝ確めであつた。それから『サフラゼット・マーチ』(女權論者の進行曲)が、彼等の討議終結として、イーセル・スミス博士に依つて指揮された。それから寄附金集めがあつた。ペシック・ローレンス夫人は、『何千も手形や切手が集まるでしやう。』と言つた。僕は正直に白狀すれば、彼女の言ふ事を疑つた。『何と云ふ法螺を吹くぞ』と僕は自分に囁いた。(僕はローレンス夫人が、僕の茲に眞實の白狀するのを赦されたい。僕は全く事實を知らなかつたんだから。)しかし僕の豫想は次の刹那にすつかり摧かれてしまつた。彼女は高聲に手形の高を讀み上げた。僕の記憶する所では、何でも一千磅の手形が二三枚あつた。そして二百磅乃至三百磅のものは、ほんとに澤山あつた。總計は彼等の期待した十萬磅に殆ど上つたやうだつた。(僕は精確な總計を忘れてしまつた。)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何よりも、僕はさう云つた女權論者の英國婦人の、燃え立つ熱心に、非常に動かされた。若し之が或る他の昂奮し易い國民の間に起つたのなら、さう驚かされなかつただらう、けれども僕は英國婦人が冷靜な性情を持ち、亦甚だ思慮深いと云ふ事をよく知てゐたのだ。

斯う云ふ大きな寄附金は、彼等が眞に強い決心を持つてゐなけりや、物持のいゝ英國婦人から少しも一時的の昂奮の爲めでなく、斯う集められる筈はない。此事實は、これ丈で彼等の將來の勝利を證明した。クリスタベル・パンカースト孃が、いつでも『決議』の演說をする時に、『あたし達は背後に何物かを控へてゐる』と常に言ふ譯は、最早怪しむに足らない。

今、僕は會計室に入つて、僕自身の眼で、彼等の意味する『強い後楯』を目睹したのである。

パンカースト孃は、僕等に『左樣なら』と告げる前に、一つの小さい部室を見せて呉れた。それは彼等が二三年前に、彼等の運動を始めた時分の、たつた一つの部室であつたと彼女は話した。

僕は、どうして彼等が斯う速に發展したかと考へてみない譯にいかなかつた。若し諸君が汽筒の大さを見るなら、能く船の大さを想像することが出來やう。今日、女權論者の船は弩級型である。彼女は尙ほ屢屢暴風雨に遇ふかも知れない。しかし彼女は『ボン・ヲエージ』(海上平安)を持つてゐる。僕は彼等の豫定の目的地が、最早間近に在ることを祈る。(完)

女傑の片影

西川光次郎

ローラン夫人の大膽

マリー・ジャン・フイリポンと云ふ娘さんは幼い時よりプルタークの英雄傳なんか讀みて共和主義にかぶれ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

母が此の世を去つて後は父と折合がつかなんだ。一はソンナ事情もあるので、半は保護者を求むる考へから、年は大分違ふが、かねて尊敬せるリオンの製造業者ローランと結婚した。コウ云ふ動機からの結婚であるから、夫人はドコまでも夫を尊敬して居たが、夫婦の間に愛と云ふ者はソレ程なかつた。其の爲めであらう、夫人には後にヘンリー、ビュゾーと云ふ愛人があるに至つて居た。

それはさておき、ローラン夫妻の屬せるジロンド黨が内閣を組織するに至り、ローランは閣員の一人となり、ローラン夫人はジロンド黨の首腦者として、一時大に花を咲かせたものであつたが、間もなく過激黨にジロンド黨の内閣は倒され、重なるジロンド黨員は續續捕縛された。ローランは幸にして逃走することが出來たが、ローラン夫人は不幸にも捕へられて、獄に投せられた、夫人の獄室はセイヌ川の川床よりも五尺低いと云ふ地下室であつた。彼の有名な夫人の『自傳』は此の地下室で出來上つたものである。夫人は『自傳』を書き終るや、密に一友人に托して、之れを獄外に持ち出して貰つたのであるが、其人は首尾よく持ち出して暫らく朽木の内へ秘くして置いて、後ちに之れを出版したのである。

流石のローラン夫人も死刑の宣告を受けた時には、潸然として涙下つたと云ふが、开は其の瞬間丈けであつて、いよ／＼刑場へ引き出される時には白衣を著て、自慢の金髮を腰まで垂れ靜かに同囚に別を告げて、出て行く態度は實に立派なものであつたと云ふことである。

いよ／＼斷頭臺の下へ來た時、刑の執行者は先づ夫人を刑せんとした。此の時傍で戰慄して居る一老囚があつたが、夫人は此の者を指して『どうか彼から刑してやつて下さい、アンナに恐怖して居るではないか私の血を見せてからでは氣の毒である』と云つて、老囚を先きに刑せしめた。ソレから役人に、最後の感想を書きたいから、ペンと紙をと要求したが、之れは許可されなんだ。ソコで婦人は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ア・自由よ、自由よ、如何に多くの罪惡が汝の名によつて行はるゝよと叫びて、斷頭臺上の露と消えたのである。而して最後の此の一言が、最も夫人を記念するの語となつた。

珍らしき話

ナイチンゲール孃が、看護婦となつてクリミヤへ行つた當時、英國の陸軍大臣であつたシドニー、ハーバアトは、彼女がクリミヤから歸つた時には、既に野に下つて居たが、兩人は之れから五年の間、手を携へて、英國軍隊の衞生狀態を改良する爲めに健鬪した。其の爲め兩人は每日の樣に顏を合せ、時としては一日に三四度も顏を合せ、其の上に切りに手紙の取りやりをしたものである。之れが日本であつて見給へ、たゞ事とは見ないのであるが、流石英國、ソレに就て可笑しな噂をするものがなかつた。

又世には親密な女の友達を持て居る偉人が少なくないが、ソンナ場合に、其の偉人が妻との間に充分の愛のないことが多い、然かるにハーバアトはさうでない、彼と其の夫人との間は每年其の結婚日を非常に物々しく祝ひ、此の日を、何にか珍しき善事を爲す日とした程であつた。

更に又、男と斯くまで親密にすると云ふことは、兎角其の夫人の嫉妬を招き易いものであるのに、ハーバアト夫人と、ナイチンゲールとの間は至て親密なものであつた。ナイチンゲールとの共同事業の爲めに多忙を極めてハーバアトは疲勞し、其の健康の爲めには休養を要するのであるに、ナイチンゲールは仕事に熱注してソレには氣付かず、自分の身體のことを考へない樣に、ハーバアトの健康のことも考へず、色々なことをもちかけて益々ハーバアトを多忙ならしめた。之れを見て夫人は不安を感せぬではなかつたが、而かも之れが爲めに、ハーバアト夫人とナイチンゲール女史との間に感情の衝突があると云ふ樣なことはなかつた、實に珍らしい話である。

斯かる珍らしい話のあり得たのは、一は元よりナイチンゲール孃の心の高潔の致す所であるが、二にはナイチンゲールは女よりは男に近い婦人で、ハーバアトと彼女との交りは、ハーバアトとグランドストンとの交はりの樣であつた結果である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

年とともにあらためる事

日向きむ

年が新らしくなるのを機會に私はどうしても自分の今までの生活の法式をかへてしまひたいのです。私のやうな家政のきりもりの下手なものが六人の子の母として落度なく氣をつけて行かうとするに、手ひとつでやるのでなくてもかなり重荷です、其外夫の方の來客も相當にありますし、まとまらない用事がかなり澤山あります、その中で私は自分の教育をして行かなければならないのです、私は他は丈夫ですが肝要の腦と心臓があまり強くないために折々郊外に出て神氣を養ひ新たになつてまた働くといふやうな何より贅澤な時を持たなければ視力も氣力も薄くなつてそれは弱つてしまふのです。十二時に使はれないので十二時をよくつかはうなんて大きな事を考へて見た處で實際夜中になれば外の用事は出來なくなるこつちは時空を超越しても先はさうゆかないやうな事も起つて來ますし、何とか少し考へなくてはならなくなりました、今まで雜誌や新聞社から記者の方がずゐぶん來られました、而して私に何については如何考へるとか何々論か聞きたいとか云はれるのです、私は私のやうな者をわざ〳〵こんなところまで尋れて下さるのだからと思つて出來る限りは御目にかゝつて居りました、しかし此頃はいよ〳〵多く御出になるので實際私の時も心もゆるさなくなりました、知つてゐる方から紹介の手紙や名刺がついてゐると其方に對しても一層御目にかゝらなくては申譯がないし、さうかといつてさうしてゐますと、人と約束した時間もまた時をきつてしなければならぬ用事も果されなくなつてしまふのです、

心の方からいひましても私はもうさういふ事がつく〴〵いやになりました。特にしらべてゐない事はその出された問題に就いても滔々論ずる程の自信もなし、いひたくもないのです。實際新らしい號の雜誌の目次などを一寸くつて見た時あつちのにもこつちのにも日向夫人の談などゝあるともう何とも云はれない妙な心持になるのです、一つぱし世の經驗のある老婦人の衣裳をつけて座蒲團の上に坐らせられてゐるやうな自分の俤が見えるやうで、はづかしくなつてしまふのです。どの方面からいつても未だ〳〵片なりといふ處までさへゆかぬ大きな女學生のやうな修業中の身で――もうそんな事はつく〳〵たまらなくなりました、それで私はもう少し私ひとりでゐる時間がほしいのです。而し世の中に立つてゆく實力を養ひかつ日々の用事も滿足に近いだけやつて見たいと思ひます。さういふ譯でしばらくは雜誌新聞といふ樣な方面の方に御目にかゝらない事にいたしますからどうぞ御尋れ下さいませんやうに、また御紹介下さる方も惡しからず御ぼしめし下さつてよろしくねがひます、私は本當にそれをこの一月の一日から實行しやうと思つて居ます。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

愛

山口孤劍

二人は宇宙間に信じ難き高所に生活す。其は天底點に非ず、頂點に非ず、天使と人間との間に於て、地より上也。されど地に離れたるに非ず雲を帶びて歩めり、辛うじて骨あり、肉あり、全身歡喜に神來を感ず、彼等二人は地上を歩むには餘りに壯嚴に失し、蒼穹に隱れんにはヒユマニチーに壓せらる。墜落落下を待ちつゝある原子の如く、其の運命を支配する也。昨日、今日、明日、彼は足跡を知らず、驚嘆し、疾走し、浮揚し『久遠』に高飛する『光』の如く。

歡喜の極る時、二人の眼に涙あるのみ、虫は踏まれ、鳥は巢より墜ち、山樝の枝碎けたるを悼むが如く、蜿約なる悲哀に誘はれゆき、泣くより外尋ぬべき言葉なし、愛の最高標章は、全身を支するにえ堪へざる柔和なる感情也。

愛は中間者を容さず、破壞ならずんば卽ち救濟也。人生の運命とは此の破壞と救濟の二つを有するヂレンマのみ。見よ竟に其の峻嚴なる使命を果す。彼れ若し『生』を與へずんば卽ち『死』のみ、彼は『搖籃』と『墳墓』を備ふ。皇天の手になる凡ての中、人間の心靈に、赫奕たる光體を與ふると共に、暗黑なる夜も之れを賦與せり。

汝若し石ならば磁石たれ、汝若し草たらば合歡草たれ、汝若し人たらば愛を知る人たれ。

愛とはパラダイスの空氣を地上に於て呼吸すること

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

也。

愛とは、さびしき星の夜、耶蘇の變容（フランスフイグレーション）する時、十時架上の大苦患を混じたるが如し、其處に歡喜在り、其處に苦惱在り。

愛（ラブ）は人を子供らしくし、愛ならざる他の情熱（パッション）は人を小にす、情熱に於ける恥辱は人を小人化すれども、愛の誇りは大丈夫を天眞爛漫の赤子と化す。

個性に向つて宇宙の發する光は、之れ神の擴大に外ならず、而して是れを之れ愛といふ。愛とは星斗に向つて天使の挨拶すべき奇語也。

神は萬有の背後に在り、萬有は神を隱くす、萬物は黑暗々たり、創造せられたるものも不透明也。此時只愛あるに依りて森羅萬象を光明に輝かしむ。

分れたる愛人とは多くの物に妨げられて其の所思を告げん由なし、彼等は互に書く能はず、其の信を通ずべき方法に苦心する也。鳥の歌、花の香ひ、小兒の微笑、太陽の輝き、風のさゝやき、星の色、天地萬有、之れ愛に奉仕すべく神の作りたるにあらざるか、萬有は愛の使者として其の言葉を語るに足る。オ、春よ、之れ彼女に贈るべき『愛の書翰』也

余は巷に愛になやめる青年を見たり、彼の帽子は古び、彼の洋服は破れ、其の肱には穴あきてあり、靴も朽ちて歩む毎に泥水はひたと入る。されど彼の胸裏には天上の星に比すべき赫灼たる光體を有す。

愛は心靈と事を俱にす、其は心靈と同一物なれば也、其は神光の如く、妨ぐ能はず、分つ能はず、消す能はず、此の火は不死也、永遠也。之を滅す能はず、之を殺す能はず。吾等は愛に依つて其の骨髓燃えつゝあるを知る、而して其の燃えつゝある火が彼の天空に輝く

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を見る也。

我が心臓は情熱を通じて英雄的となれり、其は何物をも置かざれば淨潔也。何物をも止めざれば擴大す。氷河の上に蕁麻の生えざるが如き價値なき思想は我が胸に宿らず、我が胸は優しく輝き、凡俗的なる情熱も、感情も斷じて之れを近づけず、我愛に依りて彼の蒼穹に宿れる時雲霧と陰影を隱家とする、癡愚、詐僞、憎惡、虛榮、悲慘の如き、我に來ることなかるべし。人生を恐怖せしむる運命の如き最も高き山の頂上に在りて、地下最下層の鳴動を聞くに等しからむ。

東方の神話に語る、神に依りて白色に作られたる薔薇は、アダムの之れを盜み見るに依りて、直に羞ぢて紅色に化せりと、若き娘と美しき花の前に此の神話を語ること勿れ。

（ヴヰクトルユーゴー）

產褥にて

私は十二月二日に男子を安產いたしました、早くから御心配下さつた方々に御安心下さる樣に御願をします、かづと命名しました。長い時間人を騷がせたり、自分も苦しむのはいやですから、いよ〳〵今となる迄辛棒しやうと思つて居ながら、やはり夜中に人を起しました、二時頃に產婆さんが二人まで、「すつかり支度は出來ました今二三時間は間がありますから」と一先づ歸つて朝の六時に又來て八時に產れ、九時にはすつかり片付きました。お產などと云ふものは自然のものですからあまり手をかけないで自然に時間が來て飛び出すまで、人工を加へない方がよいと思ひます。出產前の苦痛は、希望の苦みで堪へ易いのですが、後の痛み、俗に云ふ後腹の痛むのは實にいやなものです、それにこれは一度より二度二度より三度と度重なるにつれ甚しくなる相ですが今度お願した小笠原さんは本誌の愛讀者ですが、大變もの馴れた上手な方で、能く收縮する樣にもんで、濕布をしておいて、下さつて、倘ほたへられぬ時は水や氷で冷やす樣にと云ふ事でした、それで氷で一夜冷しましたらよほど痛みが薄らぎました、何でもない事の樣ですか御參考にもと一寸かき添へました。其の後何の障りもなく、やがて二十一日も經過し起きられ相です、わざ〳〵お見舞に來て下されし方、手紙やお使にて御喜び下られし方々に深く感謝いたします、產褥中の感想を一まとめにしてかきたいと思ひましたがつひ無精してねむつて了ひまして、うめ草に御挨拶のみを。十二月十九日夜（文）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人短歌

東京　近藤なを子

餓くも見給ひしかなしばし我、針やすめしなもの丶あまりと

靜けさを好める例の子にかへり、歌おもふなど歎しそめけり

默するを愁と友に解されて、心に足れり悲しみのわく

見送ればけふのかへりの早しなど、のたまへるかなかたじけなくも

東京　くみ子

若水の清きに心うつし見て、己れひとりに生きむとぞおもふ

かけくらの兎のそれとならなくに、ありし心を押し通さばや

廿年夢とすぎ行きまぼろしと、消えしないたむ元日の宵

織るがごとき禮者のくるま自動車の、大手に立ちてもの寂しわれ

人妻となりて羽子唄なつかしみ、そと覗き見る勝手口かな

のし餅を賣れる小暗き路次口に、のゝしる人の心さもしき

たまくにあひぬふし目につゝましふ、けふも事なく別れけるかな

選者

新眞婦人俳句

新らしき草笛の上や福壽草　潤子

闘取の盥に初日の匂ひけり　同

初空にひろごる彌宜(ねぎ)の祝詞(のりと)かな　同

大松を立てゝ大臣の住居かな　同

鳥騒ぐ五更の月や霜の庭　園子

落葉して風吹き尖(とが)る銀杏哉　同

御降や萬歳の急ぐ夕まぐれ　くみ子

鳴る釜に輪飾の注連(しめ)戰(そよ)ぎけり　同

千鳥なく夜中や荒磯の捨かゞり　すみ子

潮會詠草

寒月や硝子の曇る汽車の窓　晶山

霜白し道路普請の掘返し　同

茶の花や館の跡はどの畑ぞ　同

傾城は窓から拜む初日かな　潮一

恥らひのありて負(ま)けゝり競羽子　同

若水や拍手闇に澄み渡る　同

見上げたる顔に罪なし羽子の人　とみ子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

顏のあれない手當

美容術研究會主任　小口みち

十二月から一月二月頃にかけて御婦人方が一等お困りになる事は顏があれてカサ〲になり白粉の乗りがあしくなり洗ふ度にヒリ〲としみて疼み、一寸した化粧水やクリームの類迄が塗つたりつけたりする毎にしみて困るやうな事があります。

俗に云ふあれ性の方であるためにどうしても冬が來ると、かう云ふ事になつて毎年のやうにお困りになる、中には脂肪が多くうき出て鼻の頭がピカ〲と光つたり額にニキビが吹き出たりして居るにも係らず、尙ほあれてお困りになる方が澤山ありますから云ふ時には直ぐに諸寄の藥屋に行つてベルツ水を買つて來ておつけになりますのが例でありますが、ベルツ水もベルツ氏の處方通りで直にやつて居る藥屋は餘りありません、ベルツ氏の處方に從へば或ひは冬期の化粧料として適當な物でありませうけれども事實に於ては決してさうでありません、化粧學の大家の說としても、グリスリンは一旦皮膚をしめしても其後で反對に乾燥させる事になる故思はしくないと云ふお話です、私も此說に贊成を表する一人でありまして、ベルツ水は化粧下として白粉を剝がさないのと著物の襟等を汚さないと云ふ、利益がある外には大した效能のある物とは思はれません。

然らば何をもつてあれるのを防ぐことが出來ませう、積極的に是れを癒すにはどうすればよいでせう、尙又消極的に之れを防ぐにはどうすればよいでせう、以下少しく私の意見を申述べさせて頂くことといたしませう。

繼子の如く虐徒されて居る日本婦人の皮膚

顏があれて仕樣がないが何とか方法はないであらうかとよく御相談に預りますが、其方のお顏を拜見いたしますと、むしろ荒れないのが不思議、どうしても荒らさずには置かないやうに御自分で骨を折つて無理に荒らしてゐらつしやる方が十中九迄おありになるのです。

どうして無理にさうなつてゐるかと申しますと第一の原因は「洗過ぎ」をなさいますからで、洗湯に行つてぢつと見て居りますと、此時こそと云はぬばかりに先づ如何はしい石鹼をもつてろくろく暖まつても居ない顏をぐる〲とこすり廻して罪も報いもない自分の顏に一擊を與へて然る後洗粉をもつて丹念にこすり上げ、尙ほ其上に房州砂の澤山混じて居る米糠を、可なり地厚の布の糠袋に入れて、ゴシ〲と骨董品の如く光りを發する迄に磨きあげて、意地目るだけ意地目、虐待を與へるだけ十分に與へて、扨て人間特有の大切なる脂肪分も何も洗ひ去られてむき出しになつた、裸になつたやうな柔かい顏の膚を、冷い外の空氣に曝しあてるのですから、態々色々な化粧料を使つて骨を折つて顏の皮膚をめちや〲になさる譯になるのです。

ベルツ水位ゐでは一旦意地目あげられた顏の膚の御機嫌を取る事は到底不可能です。

かう云ふ虐待を常に與へられてゐる方のお顏は一見して直ぐよく分ります。

そう云ふ方の肌は東北の饑饉地の田畑のやうに瘦せに瘦せ切つて、營養の供給が絕たれて終つてなります故に、未だ廿五や六のお年頃から旣に小皺の波がよつて、生々とした血色を失ひ皮膚に艶がなく彈力がなく、如何なる高貴の化粧料をもつてしても、美しくお化粧をする事は出來ません、況んや尙ほ此上の虐待を加へんと欲し、如何はしい化粧料をもつて一時のごまか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

し化粧をしやうと計つてもそれは到底駄目なことになつて終ひます。

私は此所に例を擧げてお目にかけたいと思ひます事が御座います、それは私は前後七八年の間新橋の所謂狹斜の巷の中で暮してをりました彼の邊は有名なる藝者屋町で御座いまして姐さんと尊稱さるゝ人達ちの根據地で御座います、一寸素人考では唯あゝ云ふ人たちは日髮日化粧で日を消して居るであらうとお考へになりませうなる程日髮日化粧はたしかにして居るのは事實で御座いますが、毎日のやうに手拭にシャボン入れてぐる〳〵とまいて、無造作にお湯に這入つて物の卅分もそれが爲に時間を費して居る人はありません、洗ふと云ふのはほんの名の通り一寸汚れた垢を取るだけで、其代り耳朶の後ろとかもみあげの邊りとか、一寸素人の人たちの氣のつかない所を丁寧に手入れをして洗つて居ります、熱いお湯を番頭さんに貰つて入浴の時間を假りに卅分とするならば半分の十五分間は髮の手入れで費して終つて、ヌカ袋や洗粉といろ〳〵な責道具で顏を意地目つけるやうなことは決してして居りは致しません、さうして何處かスッキリと垢ぬけがしてをるのは不思議と云へば不思議ですが、あれが當り前であります、私はあゝ云ふ人達ちの事を馬鹿に褒め上げるやうですが、見る目をもつて見たならば、眞の美しさと云ふ所は餘りありません、それは精神的に何にか價しがたいキリーとした高尙な趣がないと云ふことやら、不養生不攝生の結果自然的の若い特有の美を遺憾なく打ち壞されてをると云ふ事やら、數へあげれば良家の令孃令夫人とは到底比較にならぬ劣つた所は澤山ありますが、兎も角も自ら求めて老衰を促すやうな亂暴なことだけはしない事は、素人の方々よりは一日の長であります。

冬が來て顏をあらさない第一の方法は、入浴に際して洗ひ過ぎないと云ふ用心をする事が大切であります、餘り汚れてゐない時にはヌカ袋の汁位ゐでざつと洗つて置けばそれでよいのです。

石鹸、洗粉、ヌカ、等とこんなに澤山の物で洗ふ必要は少しもありませむ、よく身體を暖めて身體全體を洗ひあげた最後に、石鹸かヌカの汁でそつとざつと洗ふだけで澤山です忘れてもゴシ〳〵と磨いてはなりません、お湯から上る時少し顏が引つ張られるやうな感じのする時は既に洗ひ過ぎてをる時です、冷い時の空氣に觸れる際にクリームの類を少しひいて置きますと大變に宜しい、毎日外に出て冷い風に貌の肌を曝す方は生地の儘でをる事はよくありませむ、レート様の化粧水かクリームを少しひいて、其上を分らぬやうに粉白粉を少しはいて置きますと、餘程水を防ぐことが出來ます。

顏をあらさないやうにするには洗ひ過ぎを絶對に注意すること、洗顏料の撰擇を要すること、クリームの一二種、レート様の化粧水を常に用意して生地を外氣に直接觸れさせないやうの方法を取る事、熱い湯で顏を洗ふのもよくありませんと共に反對に冷い水道の水で顏を洗ふことも、冷水摩擦同様餘程強い皮膚をもつた方の外は決してよくありませむ、夏冬に係らず洗面をするには微溫湯に限ります。(大正三年、十二月十日)

須磨子女史のために

高木意勢

丁度此月の十五日から、京都の南座で、須磨子女史等藝術座の一行、はクレオパトラを上場いたしました。

私は見に行きたいと始終思つてゐながら、とうとう參りませんでした。殘念に存じます。私はまだ須磨子女史の御風丰に接した事は一度もありません。またどんな經歷をもつた方だとも

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

知りません。

けれども女優の第一人者として、問題の女として、名聲嘖々たる同氏に對する期待は、何の理解をもたぬ私をしてすら茲に同氏に對して一言せしむるに至りました。

「文藝協會に女優は澤山あつた。技術において風姿について、須磨子女史だけが必しも頭角を表してゐなかつた。けれども坪内博士は素行といふ方面から、前途の期待をも顧ず、刀を持つてずん〳〵處分した。そしてとり殘された須磨子は遂に協會の第一者として、世の中に表はれた。」私はかう言ふ意味な記事を讀んだ時、須磨子女史の前途の光明を祝福して、ノラの成功をよろこびました。「須磨子女史の日常生活は簡易なもので、自炊生活をしてゐる。豆腐買にも行く。銘仙の洗ひざらしぐらゐをきてゐる。世の常の女優と選を異にしてゐる」然麼事をしつた時は、更に心強く、また尊く思はれました。

女優――女型は同一である。着物や化粧に腐心して、貞操を寳物にする事は藝妓とかはりないと、思つてゐた私は、同女史をどんなにうれしくありがたく思つたでせう。婦人問題の解決は女それ自身貞操を生命視する自覺だと信じてゐる私は、職業の解放を希つてゐるのです。私は此の立場から同女史の自覺した仕事のしぶりを本當に立派にも尊くも思ひました。

世間の人は誤解したがります。そして悪様に許したがります。因襲に囚はれて僻目でみる人、さうした中で自己を充實させて、藝術のために凡てを捧る營は、並大抵の者の考へる、又實行しうる所でないのです。

それにしても時々新聞にでるいろ〳〵な記事を呪はずになられません。

けれども新聞にでる記事の全部が誤謬でなく抱月氏との關係が文藝協會を破壞させ、藝術座を生み、さらに紛擾を同座に起させ、抱月氏の家庭にまで荒波がうつのだとしたら、尠くとも其の原因の一つとしたらと、思ふ時何ともいへぬ悲しみを持ちます。

どうしても須磨子女史は女優の第一人者として、藝術の研究者として、雄々しく勇しく凡ての障碍と壓迫をおしのけていたゞきたい。これが女史の使命でなからうかと存じます。幸抱月氏との世間の話も、好事者の捏造であつて、これがためにいよ〳〵武者振の美しさ、立派さをそへる樣にと希つてゐます。

讓て、戀を人生の最高潮に達した者、何物をも惜ぬ營だとして、抱月氏對須磨子女史の戀を考へてみたいと思ひます。戀は人間の想像を超越した神の悪戯ださうですから、兩氏の關係は清い者美しいもの絶對のものとみることができます、そして兩氏は名譽も地位も何物もすてゝ最高の營として被居のかもしれません。それなれば抱月氏はなぜ奥樣に、又御子樣に、まじめに御處置遊ばさないでせう。

又須磨子女史も眞劍に眞面目に尊い戀の營を遊ばしたがよからうと存じます、何もきまりわろく思はなくつてもよからうと存じます。（十一月廿三日）

讀者より記者へ

a子

一

はじめて御伺ひ致しますにこんな書き振りでほんとうに失禮なので厶いますが、……何卒御ゆるし下さいませ、私は

先生の御出し遊ばす新眞婦人の讀者の一人で厶います、私は奥州の山中に父と二人でわびしい暮しをして居る者でございます、最も兄が一人あるのですが今は東京の某大學に修學中なので。本當に今日まで淋くて〳〵、けれどもまた言ふにいはれぬ、樂のしみを持つて。幾年かすごして參りました舊式に育つた女なので厶います、御社の雜誌のあると云ふ事も知らなかつた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のでしたが此春兄の所へ参りました時、兄から女の見る雜誌で之は最も宜い本だからと云はれて貰つて歸國致しましたそれからは毎月送つてくれますほんとに内の兄は、自分の兄を賞めるのも變ですがそれは〳〵親切な人で私が難かしくてわからないと思ふ樣な所へは一々丁寧に解を付けたり朱線を引いたり又は!!?などをつけて遲くも三日頃迄には必ず送つて下さいます。

雜誌の月毎に内容の豐富になつて來るので本當に心嬉れしく思ひます、婦人論八ッ當りは、何先生の御筆か存じませんが、何時もながら小氣味よい感じが致します御自分の思ふ事をどしどし云つて行くので私なども讀んでる中に氣が清清いたす樣でムいます、何れの先生のも皆ためになる事ばかりなので讀んでる私共の樣な者までなんだかかう少うし偉くなつた樣な氣持がいたします女子の人格が少しでも社會からみとめられて來る樣になつたのも一重に御社などの御骨折りによると思ひます。

此の後とも御社の益々發展せられん事を希ふてやまない次第であります。

なんですか、纏りのない事を書き連られました樣でムいますが、常々先生を御懷かしいお慕はしいお方何時かお目に掛つて見たいなんて思つてをるものでムいますから、遂失禮をもかへり見ないで、筆を取つて見ました實は四月上京しました時兄が文子先生の所へよつて見ないかなどと申されましたのですが山中育ちの私は御目にかゝつたとて一言モおはなし出來ない樣だと大變だからと言つておことわり申しましたのです此度参る樣な事がありましたら一度は御尊顏をも拜し度いと思うて居ります。

日増しに寒くなる計りでムいますお身御大切に遊ばされて一月號も益々さかんならん樣お奮勵下され度うムいます、失禮な書きぶりは幾重にもおわび申し上げます、では之で筆とめ致しますさよなら。

十二月七日　a子より

文子先生
御許へ

朝鮮の婦人

二　廣田兵吉

△拜啓しばらく朝鮮全土を馳けまはりましたが愈々近々の中に旅順に歸へります。御一統樣御氣げん克く遊ばされ候や。先生の「婦人運動(釜山にて求む)」奥樣の「婦人解放論大連にて求む)」何れもヒシ〳〵眞に迫るの言、感謝いたしつゝ拜讀仕り居り候(十二月三日)

△女子に醒めよとの婦人運動の雷の如き聲は男子に強く眞の父たれとの義に外ならざるか吾れ顧みて眞の父たるに恥ぢざるか、自覺した吾れ父なるか(十二月三日)

新年を迎へて

文子

小供の中は年を取るのがわけもなくうれしくてたまらなかつたものです。一つ〳〵大きくなると云ふことが、お正月と云ふものゝうれしさなどれ丈け増したものか知れません。

所が二十歳位からは年の増へて行くのはあまりいゝ心もちはしません、たゞお正月はおめでたいもの、うれしいものと云ふ古い感じの惰力と習慣から、やはり年中行事のうちでは一番喜ばしいものでした。今でも私はお正月が一番うれしい、又お正月の遊びの中では歌留多が一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

好きです。私は物語りの爲めに徹夜するのも、興に乘つて讀み耽つた書の爲めに夜を徹するのも、明日までに是非仕上げやうと云ふ縫ひものの爲めにも、おつかひもの、細工ものをしながらも、凡て深々と靜かに更けて行く冬の夜を夜つぴて一心にものに耽るのを尤も好きな僻でした。其の中でも歌留多遊びにもう一度もう一度と與の盡きなかつたのが一番懐かしい思ひ出の一つです。其の趣味は今も少しも變りません。然し自分では少しも變らないつもりでも、人が許さない樣な氣がしてならなかつたり、小供や家庭の周圍の事情に制せられて自然と家庭を持つてからは萬事を忘れて興に乘る樣な事もあまりなくなりました。そして何となくうら淋しい、今一度賑やかな〳〵歌留多會をして我を忘れて騷いで見たいと思つたり、かこつたりしたものです。そしてたゞ歌留多遊びばかりではなく何事も大人らしく〳〵なつて、なると云ふよりも寧ろ人に强ひられて行く樣な氣がして、かくて人は老いるものかと年の改まるにつけ年を取ると云ふ感じがをもしろくなくなつたのでした。ところが靜かに考へて見るとあゝもしたいかうもしたいと思つてゐる事ばかり多くて何一つ仕出かした事のない私は年を取る所ではない、まだまだほんの漸々の大人になつたばかりで、早熟の人に比して實は二十歳にもならないのでした。私はたゞ生れてからの年齢と云ふものしか知らなかつたのです。然かも古くから云ひ馴らされた「鬼も十八」などゝ云ふ諺が先入主となつてゐて、女の盛りは十七八でゝもあるかの樣な感じが不知不識あつたのです。けれどもよく考へて見るとまだ〳〵其の時代は何も知らない夢我夢中の小供だつたのです。

年を取る取らぬと云ふのも、畢竟するにそれは客觀のものではなくて、全く主觀のものです、自分さへ取らないつもりならば何時までも取らないでいゝのです。まして四十で死ぬ人に取つては二十は半生ですが、六十まで生きる人に取つては三十は半ばで、もつと八十九十まで長生する人にあつては、四十五十も半ばにしか當らないのです、又生きる年月が例令明日死ぬにしても、今日の自己が盛でさへあればいゝのです。まして私などはまだ小供が勉強して行く樣に、これから大に研究し勉强して行かねばならないのですから、年を取らないばかりでなくこゝ四五年の後には內容も眞の大人らしくなり、外形ももつと元氣により若く美くしくならねばならぬのです、又屹度さうなる事と確信する樣になりました。かくて私の將來には希望と光明とが待つてゐるばかりです。外界のものに囚はれて遊戯にさへ適應する樣な事は決していりません妙齢の御婦人などで年の一つ〳〵增えて行くのを慨いてゐる樣な方がありますならば、早く其の考へは捨てゝ考へ直してほしいと思ひます。年が增へるから衰へるのではない、年が行くと考へる其の主觀が衰へさせるのです。其の考をさへ改めれば三十の人が今日からでも二十歳になれます。五十の人が三十の靑年になるのもわけはありません。私は此の主觀から今年をおくり新年を迎へるについてつく〳〵若くなつた樣に感じますから、皆樣にもこの氣分をおうつししたいと思ひます。

新刊紹介

▲偉人の戀物語（西川光次郎氏著）

本書の第三節、革命渦中の戀物語の中に、「佛蘭西大革命の大立物ダントン、見ると嘔吐の出る樣な顏をして居たと云はるゝダントンに、其の白耳義に使しての留守中、妻君は病死した。騷動中で彼が何時歸るとも分らぬので、親戚朋友が相談して死骸を埋葬して了つた。そこへダントンが歸つて驚き、早速掘り出しにかゝらしたが、ダン〳〵土を掘つて死骸が少し現はれると、彼は穴の中へ飛び込んで死骸に抱きつき聲

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を擧げて泣いたと云ふ話が紹介されてある。第四節、「英雄の弱點」の中に「ナイルの海戰で大勝利を得て後、ネルソンは一と先づ歸國した、此の時に英人が彼を歡迎した樣と云ふものは實にスバラしいものであつた。けれども獨り夫人のみは迎へに出ることは出たが極めて冷然たるもので、殆んど夫に對して口も開かなんだ。……埃及遠征中、巴里の弟からナポレオンへ、ジヨセフインは此の頃、若い士官達と舞踏ばかりして居ると密に知らせて來た。其の報を得て彼が如何に不愉快に感じたかは、其後巴里へ歸つてから暫らくの間、ジヨセフインに物を云はなかつたのでも分る」と云ふ樣なことが紹介してある。又第十六節「普佛戰爭中南史」の中に、ビスマークのことを誌し「彼が露西亞に大使たりし時分、及び巴里に大使たりし時分の如き、二日目か三日目毎に必らず手紙を妻君へ出して居る。而して其の文中にはホームシツク云々の甘い文字が必らず誌されてある」との話を紹介してある。此の書の書振りは大略コウ云ふ風で、歷史上の大事件の各大立物が、其の花々しき仕事をして居る最中、家庭に於てドウ云ふ風であつたか、斯かる人物が婦人にドレ位動かされて居たかを、研究せんと努めたもので、單に讀んで面白いと云ふばかりでなく、實に有益である。

第一編、第二編は西洋の偉人に就ての研究であるが、第三編には「源平艶物語」から始まつて、「明治史と婦人の力」で終へてある（定價七十錢郵稅六錢、　京本郷駒込坂下町四十八大日本雄辯會）

▲**産兒制限論**（鴨田修治氏著）　本誌は屢々、人種改善學を紹介し、又避妊に就ての論文も掲載したが、今回日本藥學協會主幹鴨田修治氏の著はされたる産兒制限論を讀むに、全く私共と同意見である。又此の書に長文の跋を書いて居るドクトル鈴木薫氏も、私共と全く同意見である。私は我が藥學界、醫學界の先覺中に、避妊に就て私共と同意見の人あるを見て愉快に堪へない。平易簡明の筆、用意周到の文、人種改善學等の立場から避妊の事を論じて痛快を極めて居る（定價五十錢、郵稅六錢、東京本郷區丸山福山町四、日本藥學協會）

▲**性慾敎育**（金谷幸太郎氏著）　性慾敎育と云ふことに就ては、我國にも富士川博士を筆頭に、研究者が少々ある、斯く申す記者も其の研究者の一人である。併し高等小學の敎師にして、實際に之れを生徒に試みて見たものは、著者を以て嚆矢とせねばならぬ、著者は大阪の一高等小學校の敎師である。此の書は單なる飜譯でなく、斯かる人によつて書かれたのであるから、大に意義ある著述と云はねばならぬ。私は此の書を讀みて、著者の熱誠と文章とに敬服すると共に、性慾敎育が旣に我國に於ても、實際に試みられて來たことに對し、大なる悅こびを感ぜずには居られなんだ。學校の敎師たる人人は勿論、世の子女を持てる父母達は心得の爲めに必らず一讀して置かねばならぬ書である（定價九十錢、郵稅六錢、東京神田裏神保町二藤田文林堂）

▲**心身修養之礎**（マーデン原著、大宮英之助氏譯）　心の持樣が、自分の健康にも、運命にも大關係あると云ふことより說き起して例へば「一日の中には少くとも三度は笑つて見ろ」と云ふ規則を立てゝ、逆境から救出された人の話。又はある有名な日時計に「陽氣な時間の外は打たない」と云ふ文句を記してあるが、斯ういふ主義で暮しく行くと、一生を立派に送ることが出來る、と云ふやうなことを、平易に面白く、何人も得心の行く樣に書いた、有益な書である。其の名の如く眞に「心身修養の礎」として、各家庭に備へ置くべき書である（定價一圓、郵稅八錢、東京牛込區通寺町廿三　三友堂書店）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲カラマゾフ兄弟（森田草平氏譯）俳聖芭蕉（岡本獣骨氏著）、銀座の夜（小宮山豐隆氏著）、救世軍（西川光次郎氏著）「カラマゾフ兄弟」はドストイエフスキイの名著で、頗ぶる深刻なものである。此の著者の人生に對する態度には、私共の學ばねばならぬ點が多い、俳聖芭蕉は芭蕉の評傳として、簡にして要を得たるもの。銀座の夜は小宮山氏の創作にして、氏の筆には一種の新味がある、「救世軍」は同軍の長所短所を赤裸々にしたるもの、救世軍の敵も味方も讀まねばならぬ（各册十錢郵税二錢、東京本郷元町二の廿五　日月社）

▲世界大審判の豫言（宮崎八百吉氏筆記）宮崎氏が神の默示に接して、其の言葉を筆記し、活版を以て謄寫に代へて、知人に配布したもの、私も一册恵送されて、敬讀しました。（非賣品）

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け

(1) 職業を求むる御婦人

(2) 職業の選擇に迷ふ御婦人

(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人

(4) 結婚の事

等の御相談に應じます

▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後御出で下さい。

投書募集

▲和歌、俳句、感想文などの投書を歡迎します。

▲毎號新刊小説を讀みての感、劇を見ての感などの投書を歡迎します。

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）

一冊	（郵税共）	拾壹錢
半年分	（郵税共前金）	六拾錢
一年分	（郵税共前金）	壹圓拾錢

御注意　●註文は總て前金の事前金盡くれば必ず「盡」の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割増

◎新眞婦人廣告料　特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正三年十二月廿八日印刷納本
大正四年一月一日發行

本郷區駒込林町二〇六番地
發行兼編輯人及印刷人　西川文子

本所區番場町四番地
印刷所　凸版印刷株式會社分工場

東京市本郷區駒込林町二百六番地　新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京二四五五六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人社代理部特賣品

理容水白粉	淡紅、純白 正價五十錢
理エメラ化粧水	正價 特大七拾錢 大五拾錢
理容煉白粉	正價三十五錢
理容固形粧	一打八十五錢
ピノー化粧水	正價二十五錢
ピノー水白粉	正價二十五錢
ドルセーアレ止クリーム	正價二十錢
ドルセー皮頬紅	正價八十錢
コールドクリーム各種	自二十錢乇八十錢以上
化粧用石鹼各種	自二十錢六拾錢位
美顔用品各種	
香油香水各種	
粉白粉各種	二十五錢ヨリ壹圓位迄
萬能キハツ	一ボンド入、二十五錢

右各品共美容研究會に於て品質の優良なる事を保證いたし價格は正價時價より五分或は一割乃至一割五分引を以つて高需に應じ可申御注文の榮をえたく此段廣告仕候也

芝公園十五號十一
代理部事務取扱
小口みち

婦人販賣員募集

○市内は御一報次第販賣員をして御用御伺はせ可申候也

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

簡易 美顔術箱

五種携帯用美術箱入 特價金參圓五拾錢 送料金拾八錢

内容
- マツサージ、ルーラー 一具
- カツピング、カツプ 一具
- フエシアル、ブラシユ 一具
- マツサージ用クリーム 一瓶
- ハイジエニツク、クリーム 一瓶
- 使用說明書 一部

美顔術が美容と健康に偉大の効果あるは今更申上すとも既に一般の事實です、唯口惜いのは遠隔の地に御住ひの爲に思ふ儘この幸福を都人と同様お受け遊す事の出來ぬ一事です、今回右の事情に鑑み何人にても簡易に東京にてお試みになると同じ効果ある美顔術箱を御分ち致します

効力 にきび、そばかす、吹出物は勿論お顔のしわをのばし常に生々たる自然の色艶を出す

○説明書二錢切手封入あれ

深き自信を以てお進め致します

お若い方に殊に御婦人にニキビ、吹出物の出來ました位見醜いものは御座いません、其に付て私共でも商賣柄の責任上常に非常に苦心をいたし良藥もがなと存じて居ました所今回幸にも其目的を達し、偉大なる効力ある逸品を得まして皆樣に御報告いたす事を心から喜んで居ります

特長と効力

本品は普通藥品と其類を異にし、未だ日本に無い化粧用のクリーム體になつて居りまして、ニキビ、ソバカスを全治するは勿論、ナマヅ、タムシ、ハタケ、赤鼻等にも驚く可き効驗を有して居ます、其上冬分あれ止用として二重の効果があります

ニキビ取用 理容クリーム

(アルミニユーム容器入) 一罐 金五十錢 送料八錢
特製 金壹圓 送料共

東京新橋竹川町十二、美顔術婦人御化粧所 理容館
電話新橋一五一九
振替東京一四一〇〇

脳病精神病専門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨脳病院

（長電話番町三〇九八）

院長 醫學博士 石川貞吉

入院隨意

らい病

患者と血統者に急告す

秘密療法及豫防新書を送費二錢送れば無代送呈す一日遅れば千日の悔あり今直に申込め秘送は小包料八錢要

東京下谷車坂町五二 福田秋水

脳神經精神病

東京赤坂

帝國脳病院改

青山脳病院

院長ドクトルメヂチーネ 齋藤紀一

醫學士三名

田澤醫學士

特長

電芝二七四五

電芝二六六五

電芝三四〇六

皮膚病一切

たむしの妙藥

タムシン

東京市京橋區入舟町四丁目

本舖 橋本進世堂

ね小便

近小べん

治効確認禮狀感謝狀日々來着奏効豫期以上直接來院すれば施藥規定もあり遠地又事情にて來院出來ざる方に新式ね小便根本療法書無代呈す藥品部宛ハガキ申込め

東京本所區中ノ郷元町

電話本所三三四二番

東京新療院

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

■雜誌界空前の大偉觀■

修養世界

毎月一回 一日發行

本號に限拾五錢送料一錢　(新年號)　一ケ年前金一圓二十錢

安心立命號

▲如何か安心立命せん　顧問 大内青巒

心を安んずるの道　釋宗演

不安なる思想界　原田祖岳

安心立命の大本　佐々木珍龍

余の安心論　長谷井超山

▲安心立命と老子の三寶　文學博士 南條文雄

安心の根源　曹宗大長 秋野孝道

葛藤三則　石川禪師

社會のどん底　春風庵

事實上の問題　鈴木充義

人生の大問題　菅原洞禪

信仰は安心の本 希望は立命の母　新井石禪

身心安樂の道　濱地八郎

鼠錢筒に入る　濟大典

▲新年詩誡と安心の要訣　文學博士 前田慧雲

禪的自覺に得よ　高階瓏仙

禪と武士道　芳賀博士

忍辱仙人　廣瀨宕外

犬山城　高橋竹迷

▲安心決定は武士道の心核也　横尾賢宗

發行所　東京市麻布區我善坊町 振替東京二三〇七四番　修養世界社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

戰爭と家庭教育

●高等女學校の卒業證書は嫁入道具

本校は其卒業證書を諸孃へ授與す。父母の膝下にて家事の傍ら僅少の學費と短日月に自宅にて居住の儘登校の面倒なくして卒業せしめ卒業生には卒業證を授與し在學生に徽章を佩用せしむ。文部省高等女學校に準據するは勿論資格と實力を與へ良妻賢母を養成す。女子の學校生活には種々の危險と弊害との伴ふを免れず又種々の事情にて家庭を離れる能はざる諸孃は速に來りて本校の門に學び光明の端緒を開き幸福を得よ

大日本通信高等女學校

東京本郷新花町
大日本通信高等女學校
電話下谷五二三九番
振替二四六二二番

總長 持明院子爵 校長 四元學士 學監 神戸博士 顧問 下田學士 教頭井川學士教授高等師範卒業雨宮みつ子外卅名

新學期 開講紀念として入學金全免の外月謝免除あり

校則 見本つき申込次第無料進呈

天下千萬の諸孃が一生幸福に出世せんとせば本校に宛て(はかき)下さらば本誌の愛讀者に限り右諸先生の責任ある出世案内校則雜誌を無料進呈す

杏雲堂病院
樂山堂病院
育兒會病院
田端腦病院
帝國大學醫科大學病院
橋爪病院
駿河臺病院
土田病院
小林眼科病院
小林耳鼻科病院
木下病院
中原病院

○樂牛園 牛乳販賣部

○牛乳は樂牛園に限る

○市内ハ遠近ニ拘ラズ迅速ニ配達仕候

產婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號
東京衞生團 產婆看護婦部
電話芝八百六十四番

部長 產婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地
產婆部 大崎支局

色白新劑

本劑は近時佛國パリス貴紳淑女間に最新流行の發明劑を原料とし百方經驗の上完成したる美容劑にして生來色黒き男女にても平素之を用ゆれば本劑の主成分たる皮膚漂白性作用により漸次肉體白色となり肌を滑にし日やけを防ぎ艶美の容貌となる効果を有す世上種々雜多の色白藥を用ゐて奏効なき人は速に本劑特製貳劑を試よ偉大なる奇効完全に顯る價並製壹瓶貳拾錢特別製壹劑貳圓貳拾錢

胃病と腦病靈藥

あらゆる藥療に見離されし頑固の胃腸病と腦病に用ひ偉大なる奇効を顯したる靈藥なり慢性難症の胃腸病及び腦病患者は速に試み苦惱を脱し快癒の幸福を得られよ胃病藥價九拾錢壹圓六拾錢重症用貳圓貳拾錢腦病藥價試用壹圓拾錢輕症用參圓重症用五圓六拾錢慢性症用拾圓五拾錢

腋臭必治劑（わきがひつしざい）

本劑は腋臭症に對し最近の學理と實驗とにより研究發見せられたる斯病唯一の理想的特効靈藥にて本劑の作用により其病の原理汗腺を變質せしむるを以て難症腋臭にも著効を奏す故に他藥にて全治せざる患者は早く試み病原を去り苦惱を脱せよ難重症は特別製を用ゆれば偉大なる奇効的確に顯る藥價輕症用壹圓八拾錢重症用貳圓八拾錢慢性症用五圓八拾錢頑固症用特別製分拾圓八拾錢着金小包密送す

最近發見奇藥

生殖器障害症特効靈劑

本劑(藥名トニチン)は最近發見に係る陰萎病唯一の特効靈劑にして其主治適應症を擧れば種々の原因より來る陰萎病精神性陰萎。貧血性陰萎。衰弱性陰萎。根氣衰弱。神經衰弱症。早漏。萎縮。元氣衰弱。腎虛。冷症等に優秀なる奇効あり苟も精力を旺盛にし生殖機能を強健ならしめんと欲する人は早く試よ偉大なる特効顯著なり藥價試用分壹劑貳圓輕症用五劑九圓五拾錢重症用八劑拾四圓拾錢慢性症用拾參劑貳拾參圓也着金即刻小包密送す

月やく下し通經劑

本劑は最新の理學と多年の實驗とにより研究發見せられたる婦人病藥唯一の靈劑にして其主治適應症を擧ぐれば月經閉止を開き通經を催し血塊産前産後の惡血毒血古血を快通する特効藥なり其他月經不順月經困難女子拾五六歳にして月經なき人月經閉止又は二三ヶ月間又は數月間月經不順に基因して續發する諸症例へば逆上眩暈頭痛卒倒肩こり手足腰ひゑ血ぶとり目かすみ耳鳴癎高ぶり不眠憂鬱顔色蒼白食慾減退大便秘結ヒステリー性諸症俗に(血の道といふ)子宮痙攣子宮變位水腫肥滿嘔吐及月經時又は其前後腹腰子宮部に痙攣或は疼痛あるもの等に用ひて腹内の停滯物を下し逆上を鎮め毒血惡血をさらひ血液を清淨にし新陳代謝的旺盛循環を能くし諸症を快癒する偉大なる特効を有す近時無効類似偽藥頗る多し御注意を乞ふ價は壹劑九拾錢貳劑壹圓六拾錢參劑貳圓廿錢特別製分貳圓九拾錢頑固症用特製分五圓卅錢郵券代用二割增し

毛髪速生新發見藥

本劑藥名(ヘアーグロース)は多年研究實驗の結果發見したる毛髪速生藥なり即ち男女共禿頭病の人各種の病氣にて脱毛する人頭髪及はゑぎわの薄き人陰部毛なき人まゆ毛口ひげの薄き人其他總て毛のあるべき所に毛なき人用ゆれば毛髪蒼々と速生する特効あり本劑は世にありふれたる種々雜多の毛はへ藥とは其効大に異なるに付幸に玉瓦混同視することなく速に試み偉大なる奇効を知られよ價小瓶壹圓廿錢中瓶二圓卅錢大瓶五圓卅錢特別製分拾圓卅錢着金即刻送藥す郵券代用必す二割增し

やせる藥

壹劑參圓廿錢貳劑六圓二十錢特別製九圓拾錢

本劑(藥名ヨードチリン錠)は學理實驗に徴したる唯一の瘦身劑にて血ぶとり。酒ぶとり。あぶらぶとり。顔赤くほてり。のぼせ症。卒中症等總て肥滿質多血質脂肪過多質の人用ゆれば無害にして著しく體量を減じ脂肪を過度に脱し美容健康を保ち程よくやせる特効藥なり故に彼の見苦しくふとりたる諸君は速に本劑を用ひ其的確なる靈効を知られよ

以上 入藥 專賣

東京市神田區五軒町十九番地

日新館藥房

電話下谷五百四拾六番

振替東京壹九貳四六番

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界之日本

一冊十五錢 郵税一錢五厘

新年號

一年分税共 一圓六十錢

□年頭の感……社説

□戰後の日本と現內閣の消極政策……太陽生命保險會社專務取締役 清水文之輔

□戰後の我が國富增進策……東洋經濟新報主筆 三浦鐵太郎

□戰後に於ける東西の經濟界……法學博士 田中穗積

□戰後の歐洲と日本の勞働界……早大教授 安部磯雄

□戰後の世界と日本の前途……貴族院議員 仲小路廉

□歐洲戰亂と壯快なる愚論……福本日南

■古神道とお正月の話……法學博士 筧克彥

■新佛教の立場を論ず 新佛教主筆 高島米峰

■新年より改むべき日本國民の弊風……司法大臣 尾崎行雄

■政界に於ける一流二流の人物……小壯政客

新年の讀物

■帝國議會の歷史

■衆議院議員年齡一覽表

■卯年の歷史（既往千年間）

■世界列國の大勢一覽

■千九百十四年史

■帝國高等行政官と俸給一覽

□最近に於ける政界の裏面……世界之日本社長 橋本徹馬

□國民黨の態度を難ず……立憲青年黨幹事長 萬朝報社長 黑岩周六

□對支聯合會より國民義會まで……國民義會 五百木良三

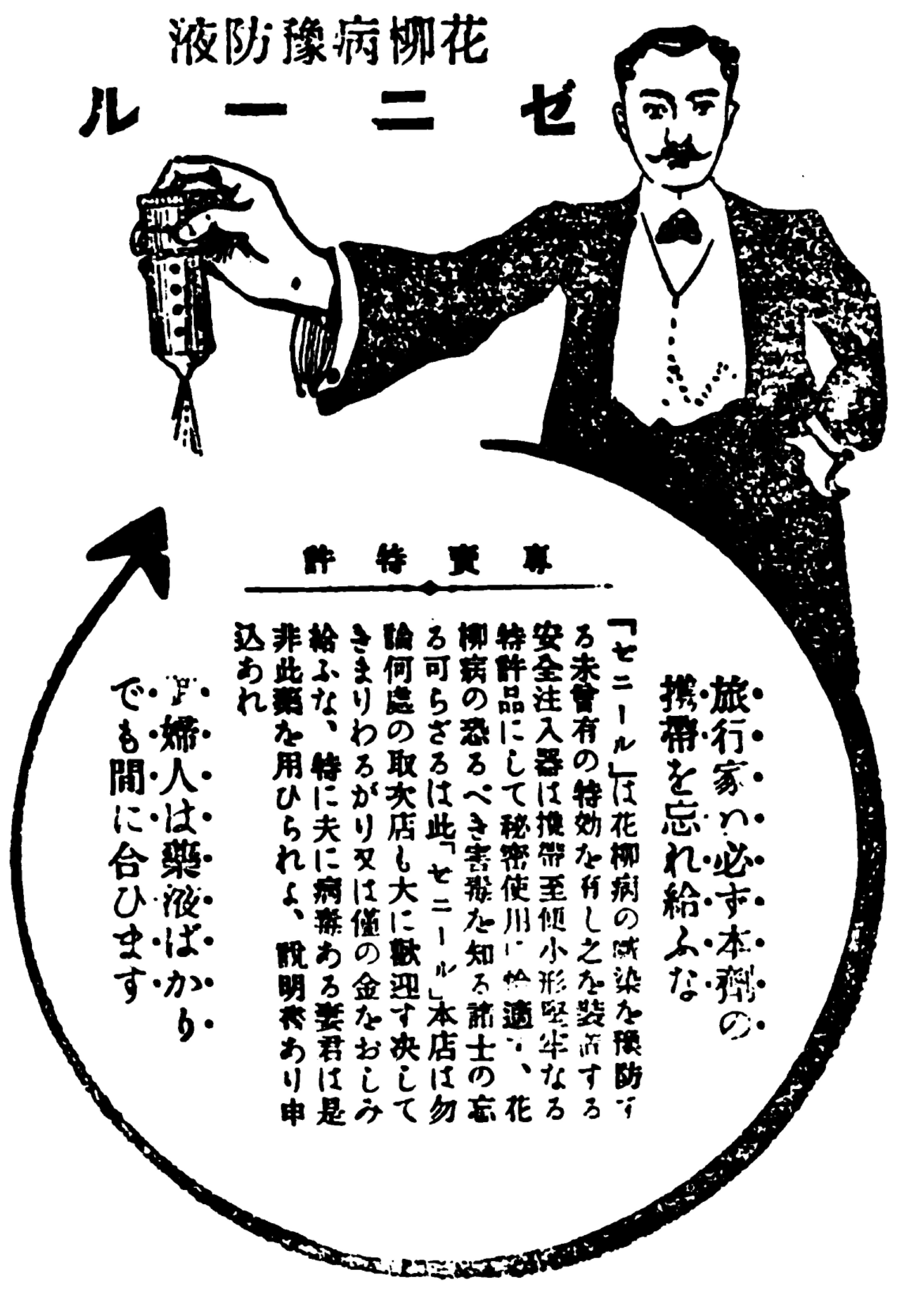
□支那の富源……佐藤家國

□民族的發展の秋……早大教授 永井柳太郎

□頭腦と心臟の背馳する國民……醫學博士 佐伯矩

□銀行會社の決算報告に就て……世界之日本主幹 安藤音三郎

發行所 東京市神田區猿樂町十七 世界之日本社 電話本局五二一四 振替東京二六八六


花柳病豫防液
セニール
專賣特許
旅行家は必ず本劑の携帯を忘れ給ふな
「セニール」は花柳病の感染を豫防する未曾有の特効を有し之を装置する安全注入器は携帯至便小形堅牢なる特許品にして秘密使用に最適なり、花柳病の恐るべき害毒を知る諸士の忘る可らざるは此「セニール」本店は勿論何處の取次店も大に歓迎す決してきまりわるがり又は僅の金をおしみ給ふな、特に夫に病毒ある妻君は是非此藥を用ひられよ、説明書あり申込あれ
婦人は藥液ばかりでも間に合ひます

年始の御挨拶

新眞婦人を御讀み下されて居たる方々には玆で年始の御挨拶を申上げます。どうか本年も相變らず御引立を願ます。私共の知人で年始のハガキを差上げねばならぬ方々にも、玆で御挨拶を申上げハガキの代りに、雑誌を御送りいします。どうか此の雑誌で私共の消息を見て下さるヿを希望じます。お互に本年は特に熱心に、其の志す方面に於て働きましよう。

大正四年一月元旦

東京本郷駒込林町二〇六

西川光次郎

西川文子

之れから毎月廿五日午後六時半より、私共の宅で閑談會を開きます。何人の御來會をも希望します

株式會社 あかぢ貯蓄銀行

本店 日本橋區芳町七番地（人形町停留場下車） 浪花（一三九〇番 二、二二八番）
支配人 瀧田金一
副支配人 三須裕

根津支店 本郷區駒込千駄木町二百七十二番地（團子坂下） 下谷 四、九七〇番
支店長 佐々木準士

須田町支店 神田區須田町二十一番地 本局（五、二九〇番 五、二九一番）
支店長 木下恒三郎

大塚支店 東京府北豐島郡巣鴨村巣鴨宮仲二千〇二十八番地 番町 五、一八八番
支店長 鈴木退蔵

最も人にきらはれるわきが

の病に罹られたる御方又永年慢生わきがにて色々の治療を施されても治らずに苦まる丶御方の爲めに不思議によくきく治療藥を御知らせ致します御望みの御方は御遠慮なく只返信料三錢切手御送り下されば御知らせ致します。

東京神田區錦町三ノ三 中村喜三郎

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

現代の婦人は必ず
其入浴と洗面とに
化粧用ライオン石鹸を
用ゐらる。

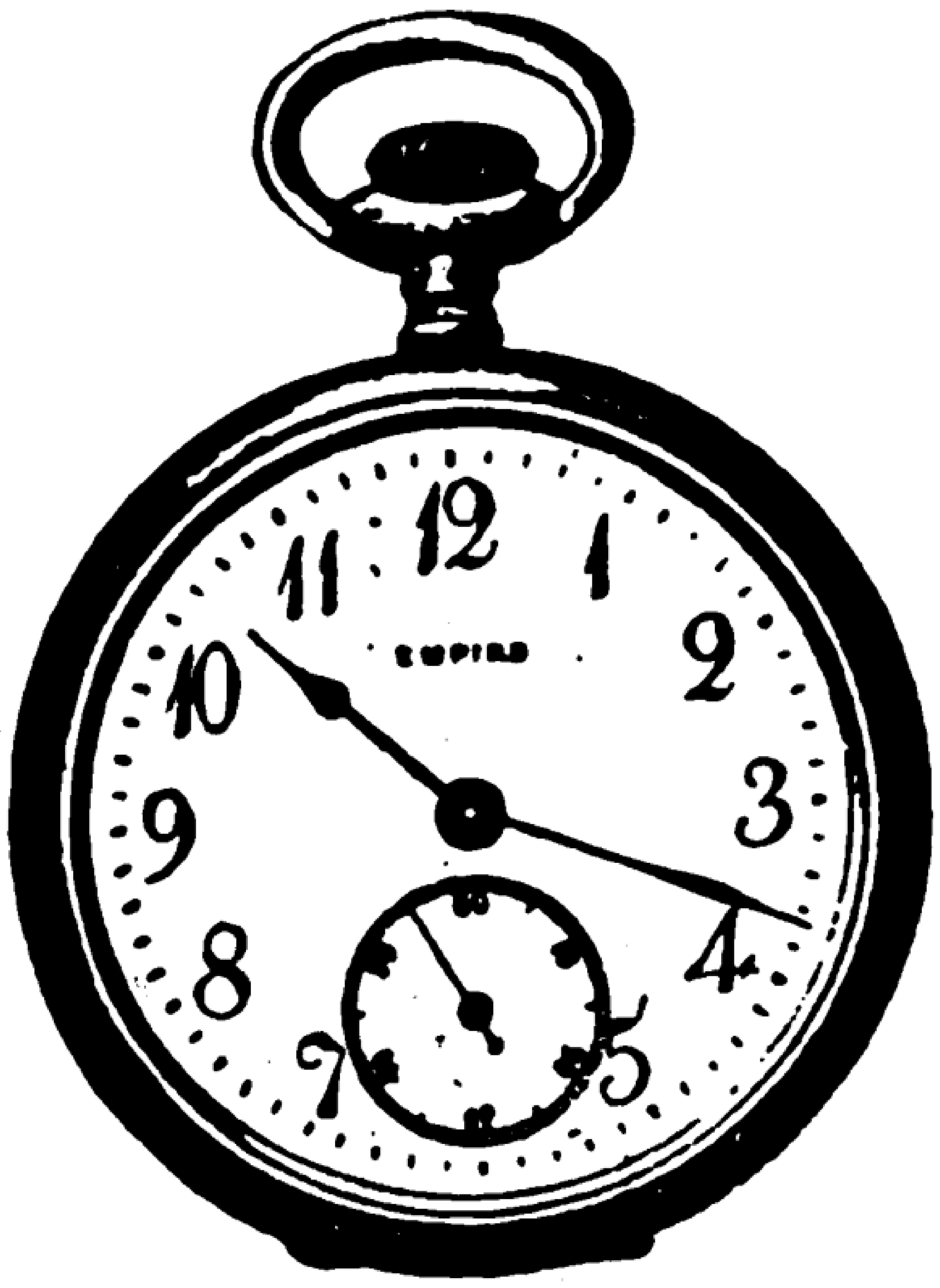
そは最も美容衛生の目的に愜(かな)ひ、柔美なる皮膚、敏鋭なる神經を、最も感じ快く守護すればなり。

東京神田區柳原川岸廿二番地
ライオン歯磨本舗 小林富五郎

支舗 大阪市北區博勞町二丁目
名古屋市傳馬町四丁目

定價 一個金二十錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



營業品概要

精工舍製懷中時計
歐米製各種時計類
雙眼鏡及各種眼鏡
測量用諸器械一式
製圖器度器及附屬
氣象用航海用器械
ブラチナ地金及製品
ダイヤモンド及諸寶石
貴金屬製諸美術品
寶石入各種裝身具

東京銀座四丁目

服部時計店

電話京橋（一三〇〇 一三〇一 一三〇二 一三〇三 一八〇〇）

振替貯金口座東京二一九八〇番

營業一覽御申越次第御郵送可致候

新眞婦人第二十一號 大正二年四月二十六日第三種郵便物認可 大正三年十二月二十八日印刷納本 大正四年一月一日發行（毎月一回一日發行）定價金拾錢